

明治二十三年四月 告示

四百二十六

一本會へ金品寄附有志者ハ住所氏名詳記ノ目錄ヲ添へ事務所へ送附アランコトヲ乞フ
一本會ハ東區内本町橋詰町府立大阪博物場内ニ於テ事務ヲ取扱フ
但明治二十三年八月十五日迄ハ東區道修町五丁目浪華學舎會ニ於テ事務ヲ取扱フ
○三重縣告示第六十二號 二十三年四月十八日
貴族院多額納稅者互撰名簿別冊ノ通調製ス

明治廿三年四月一日調

貴族院多額納稅者議員互選名簿

三 重 縣

明治二十三年四月 告示

四百二十七

地	租
金貳百拾八圓貳拾七錢三厘 明治廿二年四月一日以前ヨリ三重郡千種村ニ於テ間斷ナク納ム	金貳百拾壹圓貳拾壹錢九厘 明治廿二年三月以前ヨリ一志郡本村ニ於テ間斷ナク納ム
金貳百拾八圓七拾壹錢 明治廿一年五月ヨリ河曲郡河曲村ニ於テ間斷ナク納ム	金拾壹錢 明治廿二年三月ヨリ一志郡戸木村ニ於テ間斷ナク納ム
金貳百拾九圓九錢九厘 明治廿二年四月一日以前ヨリ飯高郡花岡村ニ於テ間斷ナク納ム	金貳百拾壹圓貳拾壹錢九厘 明治廿二年三月以前ヨリ一志郡鷓村ニ於テ間斷ナク納ム
金九圓九拾錢六厘 明治廿二年四月一日以前ヨリ多氣郡下御絲村ニ於テ間斷ナク納ム	金參拾七圓五拾六錢六厘 明治廿一年一月ヨリ一志郡豊田村ニ於テ間斷ナク納ム
金九拾七圓參錢參厘 明治廿二年三月以前ヨリ桑名郡桑部村ニ於テ間斷ナク納ム	金參百九拾五圓五拾四錢八厘 明治廿二年三月ヨリ一志郡天白村ニ於テ間斷ナク納ム
金六拾參圓七錢五厘 明治廿二年三月以前ヨリ桑名郡城南村ニ於テ間斷ナク納ム	金參百拾壹圓貳拾壹錢九厘 明治廿二年三月以前ヨリ一志郡鷓村ニ於テ間斷ナク納ム
金貳百拾貳錢壹厘 明治廿二年三月以前ヨリ安濃郡藤水村ニ於テ間斷ナク納ム	
金貳百廿四圓五拾八錢參厘 明治廿二年三月ヨリ員辨郡七和村ニ於テ間斷ナク納ム	
金百七拾八圓貳拾壹錢參厘 明治廿二年三月以前ヨリ桑名郡深谷村ニ於テ間斷ナク納ム	
金參拾五圓拾參錢貳厘 明治廿二年三月以前ヨリ桑名郡桑名村ニ於テ間斷ナク納ム	

地	租
金貳百拾八圓貳拾七錢三厘 明治廿二年四月一日以前ヨリ三重郡千種村ニ於テ間斷ナク納ム	金貳百拾壹圓貳拾壹錢九厘 明治廿二年三月以前ヨリ一志郡本村ニ於テ間斷ナク納ム
金貳百拾八圓七拾壹錢 明治廿一年五月ヨリ河曲郡河曲村ニ於テ間斷ナク納ム	金拾壹錢 明治廿二年三月ヨリ一志郡戸木村ニ於テ間斷ナク納ム
金貳百拾九圓九錢九厘 明治廿二年四月一日以前ヨリ飯高郡花岡村ニ於テ間斷ナク納ム	金貳百拾壹圓貳拾壹錢九厘 明治廿二年三月以前ヨリ一志郡鷓村ニ於テ間斷ナク納ム
金九圓九拾錢六厘 明治廿二年四月一日以前ヨリ多氣郡下御絲村ニ於テ間斷ナク納ム	金參拾七圓五拾六錢六厘 明治廿一年一月ヨリ一志郡豊田村ニ於テ間斷ナク納ム
金九拾七圓參錢參厘 明治廿二年三月以前ヨリ桑名郡桑部村ニ於テ間斷ナク納ム	金參百九拾五圓五拾四錢八厘 明治廿二年三月ヨリ一志郡天白村ニ於テ間斷ナク納ム
金六拾參圓七錢五厘 明治廿二年三月以前ヨリ桑名郡城南村ニ於テ間斷ナク納ム	金參百拾壹圓貳拾壹錢九厘 明治廿二年三月以前ヨリ一志郡鷓村ニ於テ間斷ナク納ム
金貳百拾貳錢壹厘 明治廿二年三月以前ヨリ安濃郡藤水村ニ於テ間斷ナク納ム	
金貳百廿四圓五拾八錢參厘 明治廿二年三月ヨリ員辨郡七和村ニ於テ間斷ナク納ム	
金百七拾八圓貳拾壹錢參厘 明治廿二年三月以前ヨリ桑名郡深谷村ニ於テ間斷ナク納ム	
金參拾五圓拾參錢貳厘 明治廿二年三月以前ヨリ桑名郡桑名村ニ於テ間斷ナク納ム	

明治二十三年四月 告示

四百三十四

金千七百貳拾三圓 拾壹錄			
地	租	稅得所	地
金貳百六拾七圓拾三錢八厘 明治廿二年三月以前ヨリ一志郡川合 村ニ於テ間斷ナク納ム	金四圓五拾貳錢三厘 明治廿二年三月以前ヨリ一志郡本村 ニ於テ間斷ナク納ム	金貳拾九圓九拾五錢五厘 明治廿二年分 土地ニ付津市ニ於テ間斷ナク納ム	金貳百參拾四圓貳拾貳錢四厘 明治廿二年三月以前ヨリ三重郡四日 市町ニ於テ間斷ナク納ム
金貳百拾貳圓七拾錢七厘 明治廿二年三月以前ヨリ三重郡常磐 村ニ於テ間斷ナク納ム	金八圓七拾五錢七厘 明治廿二年三月以前ヨリ三重郡海藏 村ニ於テ間斷ナク納ム		
從來本縣 ニ本籍ヲ 定メ居住	商	天保三年 七月生	民
三重郡四日市町	九鬼紋七		

明治二十三年四月 告示

四百三十五

金拾九錢壹厘 明治廿二年三月以前ヨリ朝明郡羽津 村ニ於テ間斷ナク納ム		金五百九拾六圓貳拾七錢四厘 明治廿二年三月以前ヨリ三重郡塩濱 村ニ於テ間斷ナク納ム	
地	租	稅得所	地
金貳百拾七圓三拾參錢 明治廿二年三月以前ヨリ河曲郡一ノ 宮村ニ於テ間斷ナク納ム	金三百五圓三拾七錢七厘 明治廿二年三月以前ヨリ河曲郡箕田 村ニ於テ間斷ナク納ム	金三圓七拾九錢八厘 明治廿二年三月以前ヨリ桑名郡桑名 町ニ於テ間斷ナク納ム	金五拾九圓七拾八錢 明治廿二年分 土地ニ付三重郡四日市町ニ於テ間斷 ナク納ム
金五拾九圓八拾五錢 明治廿二年分 商業ニ付三重郡四日市町ニ於テ間斷 ナク納ム			

金千拾七圓參拾四 錢九厘		金貳拾四圓四拾六錢五厘 明治廿二年分		七和村ニ於テ間斷ナク納ム 金拾五圓七拾貳錢九厘 明治廿二年四月一日以前ヨリ員辨郡 久米村ニ於テ間斷ナク納ム	
地	租	地	租	地	租
金三百三拾六圓七拾貳錢 明治廿二年三月以前ヨリ飯高郡松坂	明四拾八圓七拾壹錢三厘 明治廿二年三月以前ヨリ飯高郡松江	金四百八圓七拾壹錢三厘 明治廿二年三月以前ヨリ飯高郡松江	金七拾圓六拾九錢壹厘 明治廿二年三月以前ヨリ飯高郡港村	金百八拾貳圓三拾八錢五厘 明治廿二年三月以前ヨリ一志郡天白	金拾八圓貳拾八錢五厘 明治廿二年分
町ニ於テ間斷ナク納ム	村ニ於テ間斷ナク納ム	村ニ於テ間斷ナク納ム	村ニ於テ間斷ナク納ム	村ニ於テ間斷ナク納ム	土地ニ付飯高郡松坂町ニ於テ間斷ナク納ム
從來本縣 定メ居住	從來本縣 定メ居住	從來本縣 定メ居住	從來本縣 定メ居住	從來本縣 定メ居住	從來本縣 定メ居住
商	商	商	商	商	商
飯高郡松坂町	飯高郡松坂町	飯高郡松坂町	飯高郡松坂町	飯高郡松坂町	飯高郡松坂町
文政十二年 四月生	文政十二年 四月生	文政十二年 四月生	文政十二年 四月生	文政十二年 四月生	文政十二年 四月生
民	民	民	民	民	民
藤村文兵衛	藤村文兵衛	藤村文兵衛	藤村文兵衛	藤村文兵衛	藤村文兵衛

金九百四拾壹圓七 拾五錢三厘		金五拾五圓五厘 明治廿二年分		從來本縣 定メ居住	
地	租	地	租	地	租
金五百八拾壹圓八錢六厘 明治廿二年三月以前ヨリ朝明郡保々	金貳百四拾七圓貳拾壹錢四厘 明治廿二年三月以前ヨリ員辨郡石加	金拾八錢九厘 明治廿二年三月以前ヨリ三重郡縣村	金九圓五拾七錢 明治廿二年三月以前ヨリ朝明郡下野	金八拾六圓三拾錢九厘 明治廿二年三月以前ヨリ朝明郡竹永	金拾貳圓貳拾八錢五厘 明治廿二年分
村ニ於テ間斷ナク納ム	村ニ於テ間斷ナク納ム	村ニ於テ間斷ナク納ム	村ニ於テ間斷ナク納ム	村ニ於テ間斷ナク納ム	土地ニ付朝明郡保々村ニ於テ間斷ナク納ム
從來本縣 定メ居住	從來本縣 定メ居住	從來本縣 定メ居住	從來本縣 定メ居住	從來本縣 定メ居住	從來本縣 定メ居住
農	農	農	農	農	農
朝明郡保々村	朝明郡保々村	朝明郡保々村	朝明郡保々村	朝明郡保々村	朝明郡保々村
弘化四年 十一月生	弘化四年 十一月生	弘化四年 十一月生	弘化四年 十一月生	弘化四年 十一月生	弘化四年 十一月生
民	民	民	民	民	民
天春文衛	天春文衛	天春文衛	天春文衛	天春文衛	天春文衛

明治二十三年四月 告示

金七百三拾壹圓貳拾貳錢三厘		地		租	
金貳百八拾六圓拾四錢九厘	明治廿二年三月以前ヨリ三重郡四日市町ニ於テ間斷ナク納ム	金貳百三拾七錢四厘	明治廿二年三月以前ヨリ三重郡海藏村ニ於テ間斷ナク納ム	金三圓七錢四厘	明治廿二年三月以前ヨリ三重郡縣村ニ於テ間斷ナク納ム
金五拾七圓六拾壹錢四厘	明治廿二年三月以前ヨリ三重郡鹽濱村ニ於テ間斷ナク納ム	金百五拾貳圓八拾六錢六厘	明治廿二年三月以前ヨリ三重郡鹽濱村ニ於テ間斷ナク納ム	金三拾九圓貳拾六錢七厘	明治廿二年三月以前ヨリ鈴鹿郡高津村ニ於テ間斷ナク納ム
金八拾八圓六拾貳錢貳厘	明治廿二年三月以前ヨリ鈴鹿郡牧田村ニ於テ間斷ナク納ム	金六拾五圓五拾五錢七厘	明治廿二年三月以前ヨリ鈴鹿郡川崎村ニ於テ間斷ナク納ム		
從來本縣定メ居住	商	嘉永三年六月生	民	從來本縣定メ居住	商
三重郡四日市町		三輪 猶作			

四百四十二

金七百拾三圓四拾九錢五厘		地		租	
金貳百六拾壹圓五拾壹錢八厘	明治廿二年三月以前ヨリ朝明郡大矢知村ニ於テ間斷ナク納ム	金拾五圓六拾四錢八厘	明治廿二年三月以前ヨリ朝明郡羽津村ニ於テ間斷ナク納ム	金六圓八拾六錢九厘	明治廿二年三月以前ヨリ朝明郡富洲村ニ於テ間斷ナク納ム
金貳拾四圓貳拾貳錢五厘	明治廿二年三月以前ヨリ朝明郡富田村ニ於テ間斷ナク納ム	金百拾三圓五拾八錢貳厘	明治廿二年三月以前ヨリ朝明郡下野村ニ於テ間斷ナク納ム	金百四拾八圓貳拾七錢貳厘	明治廿二年三月以前ヨリ朝明郡八郷村ニ於テ間斷ナク納ム
從來本縣定メ居住	商	天保九年十二月生	民	從來本縣定メ居住	商
朝明郡大矢知村		平田文右衛門			

明治二十三年四月 告示

四百四十三

明治二十三年四月 告示

金六百六拾三圓九拾九錢七厘		金六百六拾三圓九拾九錢七厘	
地	利	地	利
金百拾八圓七拾三錢五厘	明治廿二年三月以前ヨリ朝明郡保々村ニ於テ間斷ナク納ム	金百拾八圓七拾三錢五厘	明治廿二年三月以前ヨリ朝明郡保々村ニ於テ間斷ナク納ム
金貳圓三拾八錢四厘	明治廿二年三月以前ヨリ員辨郡南石加村ニ於テ間斷ナク納ム	金九圓八拾貳錢貳厘	明治廿二年三月以前ヨリ員辨郡久米村ニ於テ間斷ナク納ム
金拾圓三拾五錢	明治廿二年分	金壹圓八拾三錢	明治廿二年分
土地ニ付朝明郡大矢知村ニ於テ間斷ナク納ム		商業ニ付朝明郡大矢知村ニ於テ間斷ナク納ム	
地	利	地	利
金六百五拾貳圓拾壹錢七厘	明治廿二年三月以前ヨリ三重郡鷓川原村ニ於テ間斷ナク納ム	金六百五拾貳圓拾壹錢七厘	明治廿二年三月以前ヨリ三重郡鷓川原村ニ於テ間斷ナク納ム
地	利	地	利
金拾壹圓八拾八錢	明治廿二年分	土地ニ付三重郡鷓川原村ニ於テ間斷ナク納ム	
從來本縣ニ本籍ヲ定メ居住	農	從來本縣ニ本籍ヲ定メ居住	農
天保十四年七月生	三重郡鷓川原村	天保十四年七月生	三重郡鷓川原村
士	進士 信俊	士	進士 信俊

四百四十四

明治二十三年四月 告示

金六百四拾四圓貳拾五錢		金六百四拾四圓貳拾五錢	
地	利	地	利
金六拾九圓貳拾貳錢四厘	明治廿二年三月ヨリ一志郡松ヶ崎村ニ於テ間斷ナク納ム	金六拾九圓貳拾貳錢四厘	明治廿二年三月ヨリ一志郡松ヶ崎村ニ於テ間斷ナク納ム
金四圓八拾七錢	明治廿二年三月ヨリ一志郡米ノ庄村ニ於テ間斷ナク納ム	金拾三圓三拾七錢八厘	明治廿二年三月ヨリ一志郡中原村ニ於テ間斷ナク納ム
金拾九圓	明治廿二年三月ヨリ一志郡豐田村ニ於テ間斷ナク納ム	金貳圓貳拾八錢	明治廿二年三月ヨリ一志郡豐地村ニ於テ間斷ナク納ム
金八圓三拾錢	明治廿二年三月ヨリ一志郡矢野村ニ於テ間斷ナク納ム	金百六拾九圓三拾九錢七厘	明治廿二年三月ヨリ一志郡中川村ニ於テ間斷ナク納ム
金四拾三錢壹厘	明治廿二年三月ヨリ一志郡中郷村ニ於テ間斷ナク納ム	金四拾三錢壹厘	明治廿二年三月ヨリ一志郡中郷村ニ於テ間斷ナク納ム
從來本縣ニ本籍ヲ定メ居住	商	從來本縣ニ本籍ヲ定メ居住	商
安政元年正月生	一志郡松ヶ崎村	安政元年正月生	一志郡松ヶ崎村
民	松島吉右衛門	民	松島吉右衛門

四百四十五

地	租
明治廿二年三月ヨリ一志郡宇氣郷村ニ於テ間斷ナク納ム	金三拾三圓三拾四錢六厘
明治廿二年三月ヨリ一志郡大井村ニ於テ間斷ナク納ム	金拾五錢壹厘
明治廿二年三月ヨリ一志郡川口村ニ於テ間斷ナク納ム	金六拾九圓九錢九厘
明治廿二年三月ヨリ一志郡阿阪村ニ於テ間斷ナク納ム	金百貳拾五圓貳拾六錢三厘
明治廿二年三月ヨリ飯高郡伊勢寺村ニ於テ間斷ナク納ム	金拾圓七拾錢貳厘
明治廿二年三月ヨリ飯高郡松江村ニ於テ間斷ナク納ム	金拾貳圓九拾七錢三厘
明治廿二年三月ヨリ飯高郡港村ニ於テ間斷ナク納ム	金六拾圓貳拾三錢壹厘
明治廿二年三月ヨリ飯野郡西黒部村ニ於テ間斷ナク納ム	金七圓貳拾八錢三厘
明治廿二年三月ヨリ飯野郡神山村ニ於テ間斷ナク納ム	金七圓貳拾八錢三厘

地	租	所得	地	租
明治廿二年三月以前ヨリ朝明郡川越村ニ於テ間斷ナク納ム	金貳百四拾貳圓四拾錢六厘	明治廿一年分	於テ間斷ナク納ム	金貳拾壹圓貳拾壹錢三厘
明治廿二年三月以前ヨリ朝明郡富洲原村ニ於テ間斷ナク納ム	金六拾三圓三拾三錢	明治廿一年分	於テ間斷ナク納ム	金壹圓三拾貳錢三厘
明治廿二年三月以前ヨリ朝明郡富田村ニ於テ間斷ナク納ム	金拾圓三拾壹錢壹厘	明治廿一年分	於テ間斷ナク納ム	金壹圓三拾貳錢三厘
明治廿二年三月以前ヨリ朝明郡富田村ニ於テ間斷ナク納ム	金四拾壹圓九拾九錢貳厘	明治廿一年分	於テ間斷ナク納ム	金壹圓三拾貳錢三厘

明治二十三年四月 告示

四百四十七

從來本縣 定ノ居住	農	朝明郡川越村
天保十四年 十二月生	民	内田 忠造

○三重縣告示第六十三號 二十三年四月二十二日

明治二十三年第一期安濃津重罪裁判所本月十八日閉廳候旨同裁判長ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第六十四號 二十三年四月二十二日 伊賀全國

本年六月ヨリ八月中旬迄ノ間ニ於テ簡閱點呼召集施行ノ旨第七旅團長ヨリ通知アリタリ

○三重縣告示第六十五號 二十三年四月二十九日

本年三月十五日香川縣下大内郡引田村海面ニ於テ檣柱ノ斜ニ逆立スルヲ認メタルニ依リ調査セシニ全ク沈沒船ニシテ凡百三十石内外ナル老朽ノ和船ナリ然ルニ該沈沒船ノ近傍ニ於テ左記ノ漂流物ヲ拾揚タリ蓋シ該船ノ附屬物タルヘシト認定セラルト雖トモ爾後死体及傳馬等ノ漂着之レナク乘込人不分明ナラス付テハ左記ノ漂流物ヲ証トシ船主水夫及該船ノ所屬地等取調之儀該縣ヨリ照會越候條心當ノ者ハ速ニ其旨當廳ヘ届出ツヘシ

(拾揚品報告名表略)

○三重縣告示第六十六號 二十三年五月十三日

本年第二期安濃津重罪裁判所本月八日開廳ノ旨裁判所長ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第六十七號 二十三年五月十九日

本年四月臨時縣會ニ於テ議定セシ改正備荒儲蓄金取扱規則中利引法改正議定ノタメ本日常置委員會ヲ開ク

○三重縣告示第六十八號 二十三年五月廿七日

明治廿二年第三師管内豫備後備下士卒簡閱點呼ノ儀來ル七月一日ヨリ施行スル旨該師團ヨリ通知アリタリ

○三重縣告示第六十九號 二十三年六月三日

津市内ニ於ケル所得納稅者ノ住所姓名左ノ如シ (姓名畧)

○三重縣告示第七十號 二十三年六月三日

職獵第九二四四號 度會郡神原村大字神津佐三十番屋敷平民 一鳥獸獵免狀 名古屋四郎へ下付

右免狀本年五月十八日同村大字泉村山林出獵中遺失ノ旨届出候條所在發見ノ者ハ最寄警察署分署へ届出テ之ヲ受ケタル署ハ警察本部保安課へ通知スヘシ

○三重縣告示第七十一號 二十三年六月三日

飯高郡將見村大字向瀨見字中山

一官林反別三反壹畝九步

同字岡

一官林反別二反四步

同字宮ノ谷

一官林反別壹反貳拾六步

右ハ從前大坂大林區署鳥羽派出所管轄ノ處爾來津派出所ニ於テ管理ニ付該官林ニ係ル諸願伺等ハ同派出所ヲ經テ差出ヘク旨該署長ヨリ通知越シタリ

○三重縣告示第七十二號 二十三年六月六日

一鳥獸獵免狀

四枚

職獵八四三九號廿二年十二月四日付度會郡一ノ瀨村大字市場八木善松へ下付ノ分

職獵八四四〇號廿二年十二月四日付度會郡一ノ瀨村大字市場瀨田喜一へ下付ノ分

職獵八四四一號廿二年十二月四日付度會郡一ノ瀨村大字市場小林伊藏へ下付ノ分

職獵八二七二號廿二年十月廿一日付度會郡一ノ瀨村大字市場高橋彌吉へ下付ノ分

右免狀本年五月三十一日度會郡城田村大字岩出ヨリ同川端迄ニ於テ遺失候旨届出候條所在發見ノ者ハ最寄警察署又ハ分署へ届出ツヘシ之ヲ受ケタル署ハ直ニ警察本部保安課へ通知スヘシ

○三重縣告示第七十三號 二十三年六月十日

縣下多氣郡荻原村大字天ヶ瀬大杉谷村大字大杉ニ於ケル宮川上流河身ヲ三重郡四日市町八卷道成外四名私費ヲ以テ改修候ニ付該費償却ノ爲メ來ル七月一日ヨリ向フ二十年間左記ノ通り上流ヨリ下降スル木材其他貨物ヨリ通過錢取立ノ儀許可候條此旨告示ス

通過錢取立手續

第一條 伊勢國多氣郡領内村大杉谷村地内宮川上流運河開鑿工費償却ノ爲メ運河開通公
告ノ當日ヨリ滿二十ヶ年間左ノ條項ニ據リ通過錢ヲ取立ツルモノトス

第二條 荻原村大字天ヶ瀬ニ運河番所ヲ設ケ通過錢取立ノ事務ヲ取扱フモノトス

第三條 通過錢ハ明治二十二年十月御許可ノ通り兩村ヲ五區ニ分畫シ第四條ノ割ヲ以テ
本流各大字ノ河岸地ノ實價ニ據ルモノトス

第四條 通過錢ノ割合左ノ如シ

第一區 領内村大字明豆御棟唐櫃

一 木材類川岸地實價百分ノ六

但筏ノ上積トナスモノモ本項ニ據ル

一 炭船壹艘ニ付金拾錢

一 雜貨船壹艘ニ付金貳拾錢

第二區 同村大字小瀧神瀧南村

一 木材類川岸地實價百分ノ八

但シ全上

一 炭船壹艘ニ付金貳拾五錢

一 雜貨船壹艘ニ付金四拾錢

第三區 全村大字瀧谷大井

一 木材類川岸地實價百分ノ九

但シ全上

一 炭船壹艘ニ付金四拾錢

一 雜貨船壹艘ニ付金六拾錢

第四區 大杉谷村大字岩井檜原

一 木材類川岸地實價百分ノ十一

但シ全上

一炭船壹艘ニ付金六拾錢

一雜貨船壹艘ニ付八拾錢

第五區 大杉谷村大字久豆大杉

一木材類川岸地實價百分ノ十二

但シ全上

一炭船一艘ニ付七十錢

一雜貨船一艘ニ付金壹圓

但シ大字大杉地内字父ヶ谷出合ヨリ上流ハ總テ父ヶ谷川岸地ノ實價ニ據ル

第五條 通河錢ハ便宜ノ爲メ印証ヲ用ユルモノトス其種類左ノ如シ

黄色

金壹錢ニ代用ス

青色

金十錢ニ代用ス

茶色

金五拾錢ニ代用ス

赤色

金壹圓ニ代用ス

鼠色

金五圓ニ代用ス

萌色

金拾圓ニ代用ス

第六條 兩村適宜ノ地ニ運河貨物ノ取扱所ヲ設ケ前條ノ証ヲ賣捌クモノトス

第七條 第三條河岸地ノ實價ニ據ルヘキ木材其他ノ物品ヲ流下セント欲スルモノハ各大

字ノ河岸(土場)ニ積立置キ種類員數並ニ實價ノ細明書ニ通河錢相當ノ印証ヲ貼付シ消

印ノ上貨物取扱人ノ送証ヲ添へ運河番所へ差出スモノトス

第八條 運河番所ニ於テハ前條明細書ヲ受ケタルトキハ現場ニ臨ミ貨主立會調査ノ上改印ヲ押シ通河セシムルモノトス

但シ大字大杉父ヶ谷出合上流ノ物貨ハ總テ父ヶ谷川岸ニ積立調査スルモノトス

第九條 前條ニ於テ使用スル改印ノ摸形左ノ如シ

徑八分 宮川

字体篆書

第十條 調査ノ上種類員數等明細書ニ齟齬スルカ或ハ價格不相當ト認ムルトキハ其場ニ於テ訂正セシム可シ若シ價格ノ協議整ハサルトキハ双方ヨリ各一名ノ評價人ヲ差出シ夫レニ最寄貨物取扱人ヲ加へ至當ノ價ヲ定ム可シ然ラサレハ明細書記載ノ實價ヲ以テ運河番所へ買取ルヘシ

第十一條 第三條河岸地ノ實價ニ據ラサル物品ヲ船積ミ流下セント欲スルモノハ通船毎

ニ明細書ニ相當印証ヲ貼付シ消印ノ上貨物取扱人ノ送証ヲ添へ運河番所へ差出スモノトス

第十二條 運河番所ニ於テハ前條ノ明細書ヲ受ケタルトキハ現場ニ臨ミ船主立會調査ノ

上通河セシムルモノトス

第十三條 木材類流下ニ際シ明治二十年八月三重縣令第七十一號河川流木取締規則ニ據

ラサルモノ及運河ヲ破壊スルノ恐アルモノハ通河セシメサルモノトス

第十四條 調査濟ノ上木材其他ノ物品ヲ天災ノ爲メ流失シタルモノハ情狀ニヨリ通河錢ノ半額以內ヲ還付スルコトアルヘシ

第十五條 凡テ開鑿通河ヲ流下スルモノニシテ此ノ手續ヲ履行セサルモノハ其物品ヲ差押へ其筋ノ處分ヲ請フモノトス

第十六條 開鑿運河ノ上流へ運送ノ物品ハ一切通河錢ヲ免除スルモノトス

但シ通船毎ニ運河番所へ届置クモノトス

○三重縣告示第七十四號 二十三年六月十日

本年第三期安濃津始審裁判所ニ管内各治安裁判所出張裁判開廷日割左記ノ通り相定メ候旨該裁判所長ヨリ通知越セリ 第三期出張裁判開廷日割(略之)

○三重縣告示第七十五號 二十三年六月十日

一鳥獸獵免狀 戊獵第七八七七號

明治二十二年十月十一日付三重郡水澤村黒田半兵衛へ下付

右免狀紛失ノ旨届出候條所在見聞ノ者ハ最寄警察署又ハ分署へ届出ツヘシ之ヲ受ケタル署ハ警察本部保安課へ通知スヘシ

○三重縣告示第七十六號 二十三年六月十三日

精撰米組合聯合規約別紙ノ通認可ス

三重縣精撰米組合聯合規約

第一章 總則

第一條 此規約ハ明治二十三年三重縣令第二十號精撰米組合規則ニ依リ定メタル所ニシテ各組員ハ總テ之ヲ遵守スルモノトス

第二條 各組合ヲ統轄スル爲メ取締所ヲ伊勢國津市ニ置キ三重縣精撰米組合聯合取締所ト稱ス

第三條 此規約ニ掲クル玄米白米ハ總テ左ニ該當シタルモノトス
一 各組合地區内ニ於テ産出スル玄米

二 何レノ産米タルヲ論セス各組合地區内ニ於テ製造スル白米
第二章 精撰及一俵ノ樹量

第四條 各組合精撰ノ最下定度ハ左ノ如シ
但シ天災又ハ土質ニ依リ精撰ナシ能ハサルモノハ此限リニアラス

一 玄米ハ一合中粗粒青米折米ヲ合シテ其數百五十粒ヲ混セサルモノトス

二 白米ハ製造ヲ純白ニシ水ヲ注カス又粗小米ヲ混セサルモノトス

第五條 各組合員ノ賣買又ハ授受(質入米預米トモ)スル玄米一俵ノ榊量ハ左ニ部當ヲ分

ツテ之ヲ定ム

第一部 四斗二升

桑名郡 員辨郡 三重朝明郡 鈴鹿郡 奄藝河曲郡

第二部 四斗一升

安濃郡 一志郡 飯高飯野郡 多氣郡 度會郡 津市

第三部 四斗

阿拜山田郡 名張伊賀郡

第三章 俵裝

第六條 各組合員ニ於テ賣買又ハ授受スル玄米ノ俵裝ハ左ノ方法ニ依ルヘシ

一 内外二重俵トナシ外俵ノ横繩ハ五ヶ所ヲ緊約スヘシ

但シ慣例アル土地ハ第三項ニ準シテ太繩掛ヲナスヘシ

二 俵ハ充分乾燥シタル藁ヲ以テ之ヲ製シ四ヶ所ヲ編ムヘシ但シ外俵ハ新製ニ限ル

三 輸出来ニハ前二項ニ定メタル外周二寸以上ノ太繩ヲ用ヒ疊ニ四方掛ヲナスヘシ

但シ買得者ノ求メアルトキハ太繩掛ヲナサ、ルモ妨クナシ

第七條 各組合員ニ於テ玄米四斗以上ヲ一時ニ運搬スル者ハ一俵ノ榊量毎ニ俵裝スヘシ

第四章 印証

第八條 各組合ハ玄米白米ニ付スル印証ヲ設ケ玄米ノ印証ハ内札外札ノ二種トナシ白米ノ印証ハ外札ノ一種トナスヘシ其様式左ノ如シ

玄米印証

料紙洋紙

料紙セソカ紙上端毎年色別

内 明治何年産米四斗 (四斗一升)

外 明治何年産米四斗 (四斗二升)

三重縣何郡市精撰米組合之証

三重縣何郡市精撰米組合之証

五寸一

札

國郡市町村
何之誰

寸札

國郡市町村
何之誰

分

三寸五分

裏面ニ組合事務所ノ印ヲ捺ス

裏面全上

白米印証

料紙センカ紙上端赤染

表 明治何年何月何日

三重縣何郡市精撰米組合之証

面 國郡市町村
白米製造人 何之誰

一寸九分

五寸

裏面ニ組合事務所ノ印ヲ捺ス

第九條 各組合員ニ於テ賣買又ハ授受スル三斗以上ノ玄米白米及他ノ市町村ニ運搬スル三斗以上ノ玄米白米ハ俵毎又ハ容器毎ニ其組合ノ印証ヲ付スヘシ但シ諸港津ニ於テ袋

詰トナシテ外國ニ輸出スルモノハ此限リニアラス

第十條 一旦付シタル印証ノ脱落シタル時ハ米主再ヒ之ヲ付スヘシ其印証現在セサレハ新タニ之ヲ付スヘシ若シ新タニ之ヲ付スル場合ニ於テ米主其產出者又ハ製造者ト異ナル片ハ其旨ヲ印証ニ附記スヘシ

第十一條 前條ニ依リ甲組合ノ米主乙組合ノ地ニ於テ新タニ印証ヲ付スル片ハ乙地組合ノ印証ヲ付スルコトヲ得此場合ニ於テハ其理由ヲ印証ニ附記スヘシ

第十二條 各組合ノ印証ヲ玄米白米ニ付スル方法順序ハ各組合ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第十三條 各組合ノ印証ハ總テ各組合同一ノ料金ヲ徴收スルモノトシ其金額ハ毎年度組合聯合會ニ於テ之ヲ議定ス

第五章 証票及携帶証票

第十四條 各組合ハ米商人ニ付與スル証票及携帶証票ヲ設ケ証票ハ卸賣仲買小賣ノ三種トナスヘシ其様式左ノ如シ

証票

料紙厚洋紙 三寸五分

表第何號

三重縣何郡市精撰米組合証票

卸賣 仲買米商 國郡市町村 何之 誰

分二寸二

裏 明治何年何月何日限

三重縣何郡市精撰米組合事務所

印

携帶証票

料紙厚洋紙 三寸五分

表第何號

三重縣何郡市精撰米組合携帶証票

國郡市町村 米商何之 誰 雇人 或ハ 家族 何之 誰

分二寸二

裏 明治何年何月何日限

三重縣何郡市精撰米組合事務所

印

第十五條 各組合ノ米商人ハ左ニ掲クル業体ノ區別ニ依リ其組合ノ証票ヲ受クヘシ

一 玄米白米ヲ自用者ノ食料ニ賣渡ス者ハ之ヲ小賣トナス

二 口錢又ハ手數料ヲ取り玄米白米ノ賣買者双方ノ間ニ奔走スル者或ハ店舗ヲ設ケス 自身ニ玄米白米ヲ運搬シテ賣買スル者ハ之ヲ仲買トナス

三 前二項ヲ除クノ外玄米白米ヲ賣買シ損益ヲ自身ニ負擔スルモノハ之ヲ卸賣トナス

第十六條 各組合米商人ニ於テ輸出米ノ検査ヲ受クル時若クハ自己店頭倉庫ノ外ニ出張

シテ玄米白米ノ賣買ニ關スル業務ニ從事スル時ハ証票ヲ携帶スヘシ

第十七條 各組合米商人ニ於テ其業務ニ從事セシムル爲メ家族及同居ノ雇人ヲ自己店頭

倉庫ノ外ニ出張セシムル時ハ其組合ノ携帶証票ヲ受ケテ携帶セシムヘシ

第十八條 各組合ノ証票及携帶証票ハ其有効期ヲ毎年六月三十日限リトス

第六章 輸出来

第十九條 左ニ該當シタルモノハ輸出来トナシ各組會員ノ輸出来ハ總テ検査ヲ執行ス

- 一 海路ヲ運漕シテ組合聯合地區内又ハ聯合地區外ノ諸港津等ニ輸送スル玄米白米
- 二 陸路又ハ河川ヲ運搬シテ組合聯合地區外ノ地ニ輸送スル玄米白米
- 三 組合聯合地區内ニ於テ各組員ニアラサル聯合地區外ノ者ヲ販賣シ又ハ授與スル玄米白米

第二十條 取締所ハ左ノ市町村ニ検査所ヲ置キ各組員ノ輸出米ヲ検査スヘシ

- 桑名町 四日市町 若松村 津 市 松ヶ崎村 港 村
- 下御絲村 宇治山田町 上野町 名張町

第二十一條 取締所ニ於テ前條ニ定メタル検査所ノ外検査ニ必要アリト認ムル場所ニハ其出張所ヲ置キ或ハ近傍ノ組員ニ検査ヲ囑託スルコトヲ得又前條ノ市町村中検査所ノ配置ニ必要アラスト認ムル時ハ其検査所ヲ廢シ又ハ之ヲ他ノ必要アル町村ニ移轉スルコトヲ得

第二十二條 輸出米ノ検査ノ囑託サレタル組員ハ取締所ノ指定シタル検査所ニ屬シ檢

査上ニ就テハ検査役同一ノ事務ニ服スヘシ

第二十三條 輸出米ノ検査ヲ囑託シタル組員ハ其検査米數ニ應シ検査料ヲ支給ス

第二十四條 輸出米ノ検査ハ俵毎又ハ容器毎ニニテ所以上改差スルヲ例トシテ違約ノ疑ヒアル場合ニ於テハ俵裝又ハ容器ヲ解テ全体ヲ検査スヘシ若シ此規約又ハ其米ノ關係アル組合ノ規約ニ違背シタル者ヲ發見シタルトキハ其輸出ヲ停止スヘシ

第二十五條 輸出米ハ検査シタル際俵毎又ハ容器毎ニ検査ヲ付スヘシ一旦検査ヲ經タル玄米白米ヲ再ヒ検査シタル場合ハ己ニ付シタル検査證ヲ現存セサルモノニ限リ之レヲ付スヘシ

第二十六條 輸出米検査證ノ様式左ノ如シ

玄米検査証(料紙センカ紙)

白米検査証(料紙センカ紙)

何年何月何日

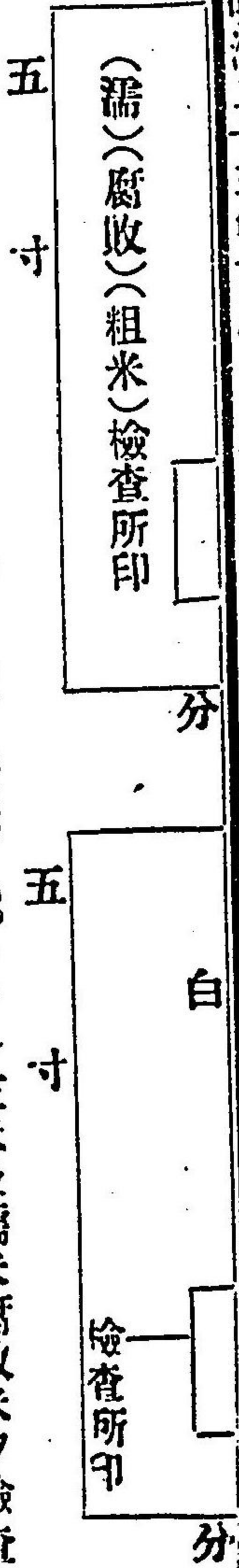
検査済印

五寸一

何年何月何日

検査済印

五寸一



第二十七條 輸出米中天災又ハ土質ニ依リ精撰シ能ハサル玄米及糯米腐敗米ヲ検査スル

時ハ検査証ヲ付スル外左ノ符號ヲ俵面ニ記スヘシ

天災又ハ土質ニ依リ 「ツ」 濡米 「ヌレ」 腐敗米 「フハイ」

第二十八條 各組合員ニ於テ玄米白米ヲ輸出スル者ハ検査所 (検査出張所及検査ヲ囑託シタルモノ亦包含ス此章中以下之) ニ申立輸出ノ際其検査ヲ受クヘシ一旦検査ヲ經テ輸出シタル玄米白米ヲ再

ヒ輸出スル時モ亦タ此手續ニ依リ更ラニ検査ヲ受クヘシ

第二十九條 各組合員ニ於テ海路ヲ運漕スル玄米ト雖モ小作米ニシテ其小作人所在地委員ノ証明書ヲ検査所ニ出シテ見聞ヲ受クル時ハ組合聯合地區内ヲ運漕スルモノニ限リ其米ノ検査受クルニ及ハス

第三十條 各組合員ニ於テ組合聯合地區外ノ玄米白米ヲ聯合地區内ヨリ輸出スルモノ

及玄米白米ヲ袋詰トナシテ外國ニ直輸スル者ハ時宜ニ依リ之ヲ検査ス但此検査ニ付テハ検査証ヲ付サス

第三十一條 各組合員輸出米ノ検査ヲ受ケタル時ハ検査証ヲ付セサル場合ヲ除クノ外即

時其手数料検査所ニ納ムヘシ

第三十二條 輸出米検査手数料ノ金額ハ毎年度組合聯合會ニ於テ之ヲ議定ス

第七章 取締所

第三十三條 取締所ハ各組合ヲ統轄シ左ノ事項ヲ處理ス

- 一 組合聯合會ノ開閉ヲ縣廳ニ開申スル事
- 二 組合聯合會ノ議案ヲ發スル事
- 三 組合聯合ニ屬スル經費ヲ出納スル事
- 四 組合聯合ニ屬スル經費ノ收支決算ヲ組合聯合會ニ報告スル事
- 五 輸出米検査ノ事

- 六 必要ト認ムル場合ニ於テハ各組合委員長會ヲ開ク事
- 七 各組合ノ利害ニ關スル事項ヲ報告スル事
- 八 諸統計表ヲ編製スル事
- 九 以上各項ノ外此規約ニ掲ケタル事件及取締上必要ト認ムル事件ヲ處理ス

第三十四條 取締所ニ屬スル印章ヲ定ムル左ノ如シ

字体隸書

字体隸書

寸

方一 三重縣精撰
米組合聯合
取締所印

分五 三重縣精撰米組合
聯合取締所印

分八方 三重縣精撰米組合
所之檢査印

第三十五條 取締所ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一 頭取 一名
- 二 理事 一名

三 検査取締無定員

四 視察役 二名

五 検査役無定員

第三十六條 頭取ハ任期二年トシ其職務ハ取締所ニ關スル事務ヲ總理ス

第三十七條 理事ハ任期三年トシ其職務ハ頭取ノ指揮ヲ受ケテ取締所ニ關スル事務ヲ整理シ又頭取事故アルトキハ其職ヲ代理ス

第三十八條 検査取締ハ任期ヲ付サス取締所之ヲ特撰ス其職務ハ視察役ヲ兼任シ取締所ノ命ヲ受ケテ輸出米検査所在勤シ左ニ掲クル事項ヲ處理ス

- 一 検査所ノ事務ヲ整理シ及検査所ノ金銭出納ヲ擔當スル事
- 二 検査役ヲ監督シ及検査役ノ出張ヲ指揮スル事
- 三 輸出米ヲ検査スル事

四 以上各項ノ外此規約ヲ掲ケタル事件及特ニ取締所ノ指揮スル事件ヲ處理ス

第三十九條 視察役ハ任期ヲ付サス取締所之レヲ特撰ス其職務ハ頭取ノ命ヲ受テテ組合聯合地區内ニ於ケル諸般ノ事ヲ規察シ其他規約ニ掲ケタル事件ヲ處理ス

第四十條 検査役ハ任期ヲ付サス取締所之ヲ特撰ス其職務ハ視察役ヲ兼任シ取締所ノ命ヲ受テテ輸出来検査所ニ在勤シ輸出来ヲ検査シ其在勤検査所ノ検査取締事故アル時ハ其職務ヲ代理シ其他此規約ニ掲ケタル事務ヲ處理ス

第四十一條 取締所役員ノ印章ヲ定ムル左ノ如シ
字体隸書

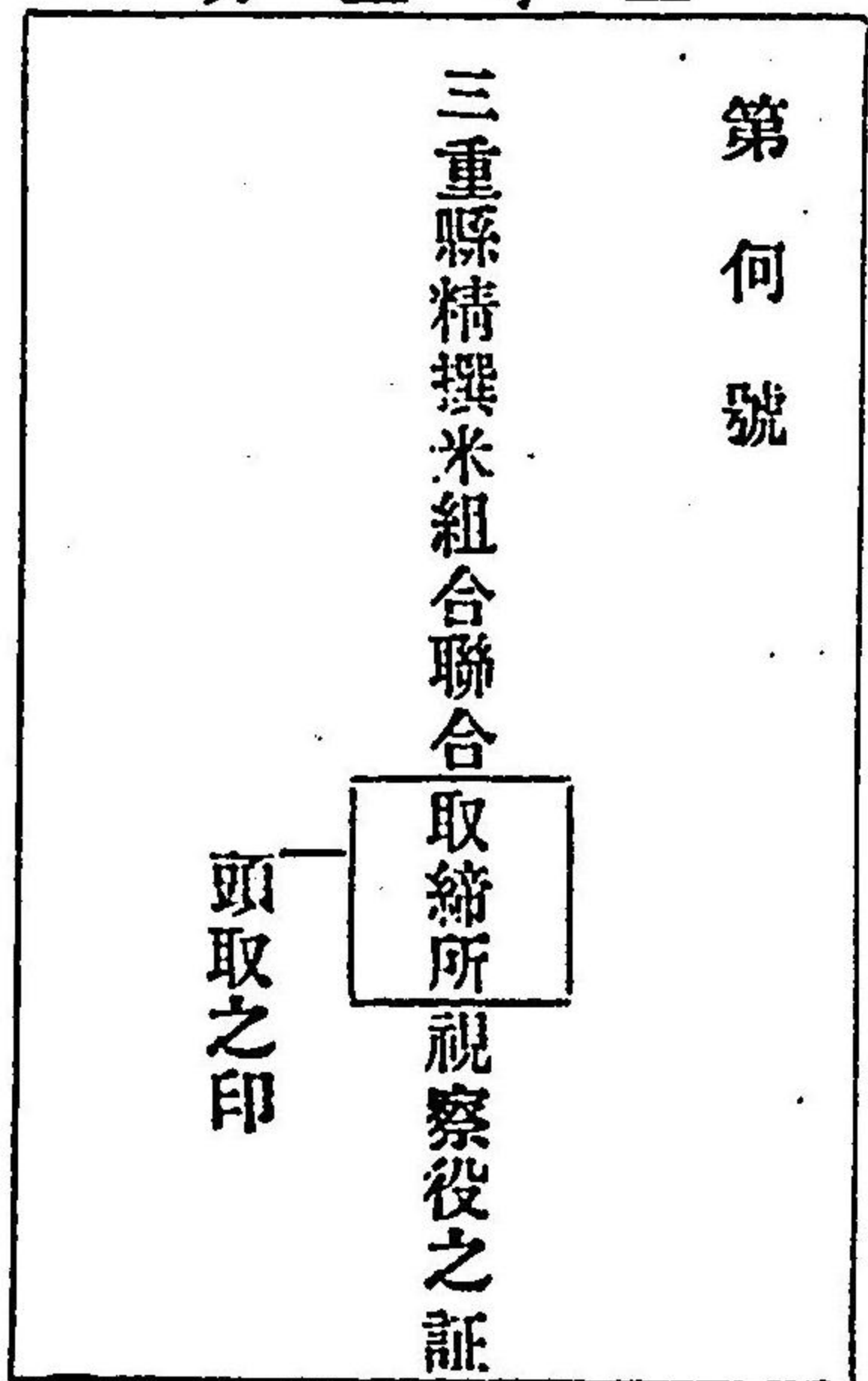
三重縣精撰米組合
取締所
頭取之印

三重縣精撰米組合
取締所
理事之印

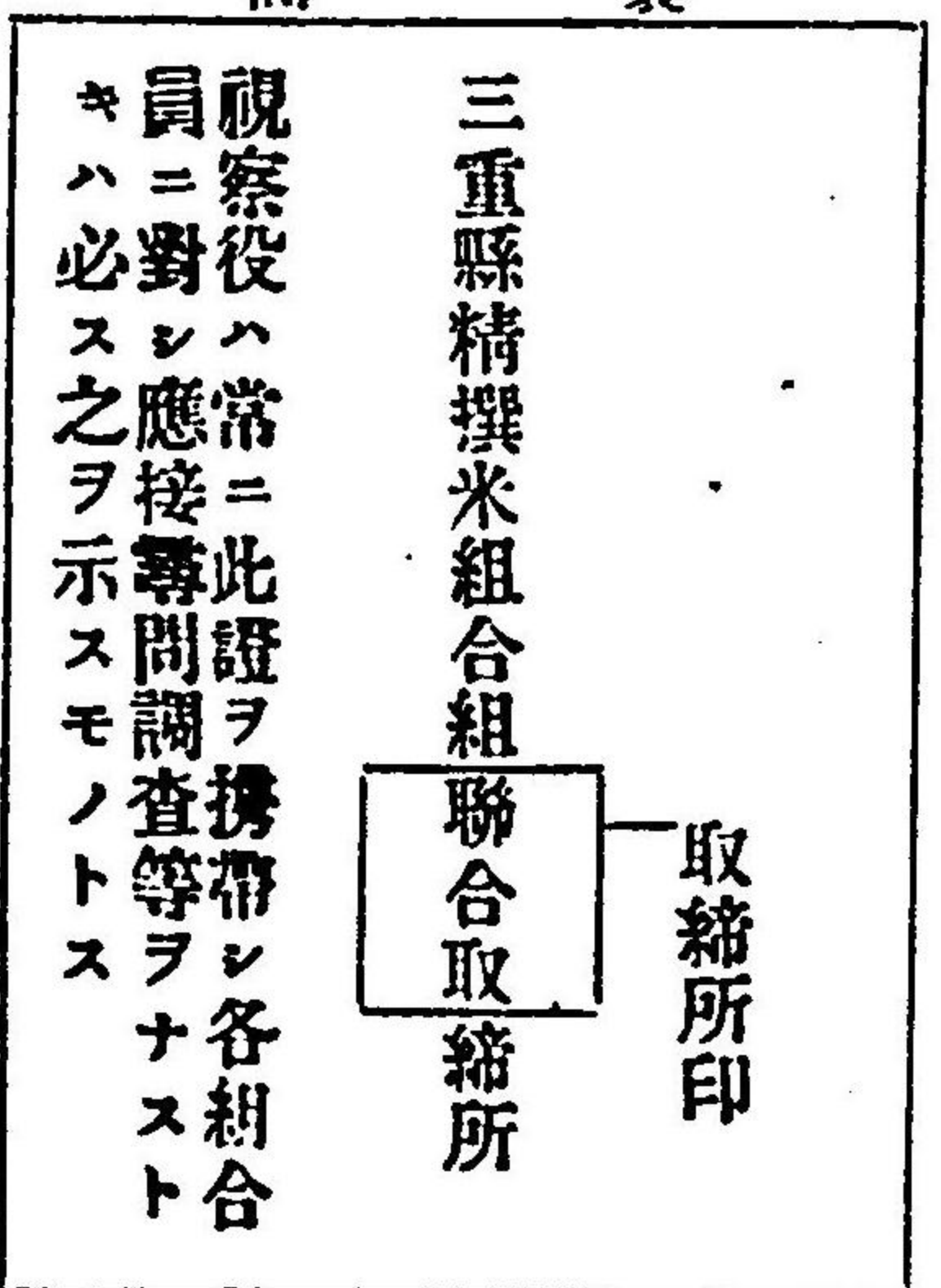
第四十二條 視察役ノ携帶證ヲ定ムル左ノ如シ

料紙厚紙 藍色花粹付

表二 寸五分



裏面



四寸

第四十三條 取締所役員ニ撰舉サレタル者ハ請書ヲ取締所ニ出スヘシ又之レヲ辭スル者ハ辭表ヲ取締所ニ出スヘシ

第八章 手當及旅費

第四十四條 取締所役員ノ手當及旅費ヲ定ムル左ノ如シ

役名	費目			車馬旅費	日當
	年手當	月手當	日手當		
頭取	二百圓以下			管外一里拾錢 管內一里拾錢	管外一日壹圓 管內一日六拾錢
理事	百貳拾圓以下			管外一里拾錢 管內一里拾錢	管外一日五拾錢 管內一日五拾錢
檢査取締		八圓以下		一里八錢	一日四拾錢
視察役			六拾下錢		
檢査役			貳拾下錢	一里七錢	一日三拾錢

第四十五條 前條ニ定メタル手當及旅費ハ左ノ法ニヨリ之ヲ支給ス

- 一 退任者及就任者ニ月手當ヲ支給スルハ其就任十五日以前ニアル者ハ全月分ヲ支給シ十六日以後ニアル者ハ半月分ヲ支給ス其退任十五日以前ニアル者ハ半月分ヲ支給シ十六日以後ニアル者ハ全月分ヲ支給ス又年手當ヲ支給スルハ之ヲ月額ニ改算シテ此法ニ依ル
- 二 就任者ハ其請書ヲ出シタル日ヲ以テ就任ノ日トナシ退任者ハ改撰又ハ辭表ヲ出シ

タル日ヲ以テ退任ノ日トナス其取締所ノ特撰ヲ以テ任シタル者ノ退任ハ解職ノ辭令書ヲ發シタル翌日ヲ以テ退任ノ日トナス

- 三 車馬賃ハ出張巡回ノ別ナク往返ヲ通シテ六里以上ヨリ之ヲ支給シ日當ハ里數ニ拘ハラヌ出張巡回ノ日數ニ應シテ之ヲ支給ス
- 四 檢査取締及檢査役輸出米檢査ノ爲出張スル時ハ旅費ヲ支給セス

第四十六條 組合聯合會議員往返ヲ通シテ六里以上ノ地ヨリ聯合會ニ出席スル者ハ其里數ニ應シ一里金拾錢ノ旅費ヲ支給シ宿泊スレハ其泊數ニ應シ一日金八拾錢ノ滞在日當ヲ支給ス其往返ヲ通シテ六里未滿ノ地ヨリ出席スル者ハ其日數ニ應シテ一日金六拾錢ノ日歸日當ヲ支給シ往返六里未滿ト雖モ滞在スレハ其日數ニ應シテ滞在日當ヲ支給ス

第九章 會計

第四十八條 組合聯合ニ屬スル經費ハ輸出米檢査手数料取締所及檢査所雜收入各組合負

擔金ノ三種ヲ以テ之レニ充ツ

第四十九條 組合聯合ニ屬スル經費ノ會計年度ハ四月ニ起リ翌年三月ニ終ルモノトス

第五十條 組合聯合ニ屬スル經費一々年度ノ決算ニ剩餘ヲ生シタル時ハ翌年度ニ組入ル
ヘシ

第五十一條 取締所及輸出米検査所ハ金錢出納簿ヲ備ヘテ其出納ヲ明ラカニ支出ニ係
ルモノハ其領收人ノ領收證ヲ徴シテ後証ニ供スヘシ又收入シタル現在金ノ現時支出ニ
必要アラサル類ハ身元儲ナル者又ハ銀行ニ預ケ入ルヘシ

第五十二條 各組員ハ取締所及輸出米検査所ノ金錢出納簿ヲ閱覽スルコトヲ得

第十章 組合聯合會

第五十三條 毎年二月通常組合聯合會ヲ開クモノトシ其日數ハ十日以内トス若シ頭取意
見アル片ハ其年ノ會期ヲ變更スルコトヲ得

第五十四條 頭取開會ヲ必要ト認メタル時若クハ議員半數以上開會ヲ必要ト認メタル時

ハ時組合聯合會ヲ開クコトヲ得其日數ハ三日以内トス

第五十五條 組合聯合會ハ左ニ掲クル事件ヲ議定ス

一 組合聯合規約ノ改正

二 組合聯合ニ屬スル經費收支ノ豫算

三 各組合ノ印証料及輸出米検査手数料ノ金額

四 以上各項ノ外會議ニ於テ必要ト認ムル事件

第五十六條 組合聯合會ハ頭取及理事ヲ撰舉ス

第五十七條 組合聯合會ハ毎年ノ通常會ニ於テ組合聯合ノ屬スル前年度經費ノ收支決算
報告ヲ受テ頭取ニ對シテ其説明ヲ求ムルコトヲ得

第五十八條 組合聯合會ノ議員ハ左ノ者ヲ以テ之レニ充ツ

一 各組會議員 十三名

二 各組委員長 十三名

第五十九條 組合聯合會ハ議員ノ出席過半數ニ至ラサレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第六十條 組合聯合會ノ議長ハ每會議員之ヲ互撰ス

第六十一條 組合聯合會ヲ開ク時ハ通常臨時ヲ別タス取締所其開會ノ期日ヲ定メテ議員ヲ招集スヘシ

第十一章 違約米差押及其保管

第六十二條 視察役及輸出米検査員取締所ノ處分ニ屬スル違約米ヲ發見シタル時ハ直チニ之ヲ差押ヘ委員又ハ各組合員ニ其保管ヲ委托スヘシ

第六十三條 取締所ノ處分ニ屬スル違約米ノ保管ヲ委托サレタル者ハ正當ノ事故ナクシテ之レヲ拒ムヲ得ス

第六十四條 取締所ノ處分ニ屬スル違約米ヲ保管シタル者ハ鄭重ニ之ヲ監守シ一モ不正トナルヘキ所爲ヲ加フヘカラス

第六十五條 第六十二條ニ依リ差押ヘタル違約米ハ其米主ヲ處分シタル後ニアラサレハ

返付スルコトヲ得ス

第十二章 違約者處分

第六十六條 視察役及輸出米検査員取締所ノ處分ニ屬スル違約米ヲ發見シタル時ハ其違約者ニ就キ始末書ヲ徴シテ取締所ニ出スヘシ

第六十七條 視察役及輸出米検査員ヨリ始末書ノ要求ヲ受ケタル違約者ハ如何ナル場合ト雖モ之ヲ拒ムヲ得ス

第六十八條 輸出米ノ検査ニ付發覺シタル違約者ハ其輸出米ニ關スル違約者ハ其輸出入ニ限リ取締所ニ於テ之ヲ處分シ其他ノ違約者ハ發覺シタル地ノ組合ニ於テ之ヲ處分ス

第六十九條 各組合ハ自己ノ組合地區内ニ於テハ他ノ組合ノ違約者モ亦之ヲ處分スル者トス

第七十條 此規約ト各組合同規約トヲ論セス同時一條中ノ數事ニ違背シタル者ハ其一事ニ就キ之ヲ處分シ同時數條ニ違背シタル者ハ各條各別ニ之ヲ處分ス又同時此規約各組合同規約ニ違背シタル者ハ各規約各別ニ之ヲ處分ス

第七十一條 此規約ノ第六條ニ違背シタル者ハ一俵ニ付キ五錢以上貳拾錢以下ノ違約金ヲ出サシム

第七十二條 此規約ノ第七條ニ違背シタル者ハ四斗ニ付五錢以上三拾錢以下ノ違約金ヲ出サシム

第七十三條 此規約ノ第九條ニ違背シタル者ハ一俵ニ付五錢以上三拾錢以下ノ違約金ヲ出サシム其俵裝セサルモノハ四斗ニ付五錢以上三拾錢以下ノ違約金ヲ出サシム四斗ニ滿サル端數モ亦タ同シ

第七十四條 此規約第十條ノ印証ヲ付サル者ハ一俵ニ付五錢以上三拾錢以下ノ違約金ヲ出サシム其俵裝セサル者ハ四斗ニ付五錢以上三拾錢以下ノ違約金ヲ出サシム四斗ニ滿サル端數モ亦タ同シ

第七十五條 此規約ノ第二十八條ニ違背シタル者ハ一俵ニ付三拾錢以上壹圓以下ノ違約金ヲ出サシム其俵裝セサルモノハ四斗ニ付三拾錢以上壹圓以下ノ違約金ヲ出サシム四

斗ニ滿サル端數モ亦タ同シ

第七十六條 印証ヲ再用シ又ハ他人ノ姓名ヲ記載シタル印証ヲ使用シタル者若クハ故ナク他ノ組合ノ印証ヲ使用シタル者ハ印証一枚ニ付貳拾錢以上五拾錢以下ノ違約金ヲ出サシム其印証ヲ偽造シ變更シタル者モ亦タ同シ

第七十七條 此規約及各組合理約ニ於テ處分スヘキ違約ニ關係アル米ヲ買収シ又ハ其米ノ授與ヲ受タタル者ハ其違約者ヲシテ出サシムヘキ金額範圍内ノ違約金ヲ出サシム

第七十八條 輸出米検査証ヲ再用シ偽造シ變更シテ使用シタル者ハ検査証一枚ニ付五拾錢以上壹圓五拾錢以下ノ違約金ヲ出サシム

第七十九條 利益ヲ得ルノ目的ヲ以テ玄米ノ生産地ヲ詐稱シテ輸出スルモノハ一俵ニ付拾錢以上壹圓以下ノ違約金ヲ出サシム

第八十條 此規約ノ第六十四條ニ違背シタルモノハ一俵ニ付五拾錢以上壹圓以下ノ違約金ヲ出サシム又其俵裝セサルモノハ四斗ニ付五拾錢以上壹圓以下ノ違約金ヲ出サシム

△四斗ニ滿タサル端數モ亦同シ

○三重縣告示第七十七號 二十三年六月十三日

一鳥獸獵免狀 職獵第九二七九號

明治二十二年十二月二十七日付一志郡中郷村大字合々野三林達太郎へ下付

右免狀紛失ノ旨届出候條所在發見ノ者ハ最寄警察署又ハ分署へ届出ツヘシ之ヲ受ケタル署ハ警察本部保安課へ通知スヘシ

○三重縣告示第七十八號 二十三年六月十七日

一鳥獸獵免狀 四枚

職獵第八四三九號

同 第八四四〇號

同 第八四四一號

同 第八二七二號

右免狀遺失ノ旨告示置候處今般發見ノ旨届出タリ

○三重縣告示第七十九號 二十三年六月二十日

福井縣ヨリ福井市物産陳列場へ出品方依頼越候條左ノ規則ニ據リ精々出品スヘシ

但出品遞送費ノ義勸業上裨益アルモノハ同場ニ於テ支辨スヘキニ付自辨ノ外ハ一應福

井市役所へ照會ノ上出品スヘシ

福井縣福井市物産陳列場規則

第一章 總則

第一條 本場ハ管内外ヲ問ハス苟モ勸業上摸範トナルヘキ品種及圖書ハ普ク之ヲ蒐集陳

列スルモノトス

但腐敗若クハ毀損ノ恐アルモノハ之ヲ拒絕スルヲモアルヘシ

第二條 本條ハ福井市佐佳枝中町百三十一番地ニ設置ス

第三條 本場ハ毎土曜日午前第九時ニ開キ午後第三時ニ閉ツ

但毎年十二月二十日ヨリ翌年一月五日マテハ開場セス

第四條 開場中ハ公衆ノ縦覽ヲ許ス

第二章 出品心得

第五條 出品者ハ左ノ各項ニ據リ出品スヘシ

但出品ハ不斷臨時ノ二種ニ分ツ

一 鑽石類ハ方一寸以上五寸以下タルヘシ

一 穀物ハ三合以下トス

但改良作ノ米麥類又ハ交換種子ノ結果或ハ試作物又ハ改良摺白ヲ用ヒレ米粒ノ

類トシ普通品ハ出品ヲ要セス

一 樹モノハ三合以下束物ハ一束以下反物ハ一反以下タースモノハ一タース以下

斤モノハ半斤以下枚モノハ百枚以下數モノハ五個以下組モノハ二組以下瓶物ハ二

瓶以下トス

第六條 出品ニハ附札ヲ添付スヘシ其例左ノ如シ

府縣郡(市)(町村)番地

一品名

出品人

何

某

一代價

一功用

一賣品(若クハ非賣品)

一製造高(或ハ收穫高)

一販賣高

第七條 出品ニハ普通品ヲ除ク外可成其製造若クハ培養ノ方法ヲ叙述シタル書面ヲ添付ス可シ

第八條 出品粗大ニシテ陳列又ハ運送ニ不便ナルモノハ見本若クハ雛形ヲ差出ス可シ

第九條 出品收受ノ上ハ領收書ヲ交付ス

第十條 賣品ハ購求者アル時ハ本場ニ於テ賣却シ其旨出品者へ通知ヲ爲ス

第十一條 前條賣却代金ハ無利足ニテ留置其出品者ノ請求ヲ俟テテ送付ス其金額一圓以上ニ及フ片ハ請求ヲ俟タス送付スルヲアル可シ

第十二條 前條賣却代金到達シタル片ハ即時其代金領收證ニ第九條ノ出品領收證ヲ添ヘテ當市役所へ送納スヘシ

但其出品領收證ニ他ノ出品ヲモ併記シタル片ハ之レカ訂正ヲ要ムヘシ

第十三條 賣却代金到達シタルモ出品領收書ヲ送納セス若クハ訂正ヲ要メサルニ於テハ已發ノ出品領收證ハ自ラ無効タル可シ

第十四條 陳列品ハ本場ニ於テ相當ノ保護ヲ爲スコシト雖モ避ク可ラサル災害現品ノ見ル可ラサル環瑾ヨク自然ノ破損及運送中ノ破損ニ係ルモノハ本場其賠償ノ責ニ任セス

第十五條 出品ハ陳列ノ期限ナシト雖モ原質ヲ變シ又ハ外装ノ更ハル可キ患アル場合ニ於テハ更ニ新陳交換ヲモ要ム可シ

○三重縣告示第八十號 二十三年六月二十四日

一鳥獸獵免狀 第九五二五號 一枚

名張郡瀧川村大字大六堀内佐平次へ下付ノ分

右紛失ノ旨届出候條所在發見候者ハ最寄警察署又ハ分署へ届出ツヘシ之レヲ受テタル署ハ速ニ警察本部保安課へ通知スヘシ

○三重縣告示第八十一號 二十三年六月二十七日

一鳥獸獵免狀 職獵第八〇五三號 一枚

北牟婁郡引本村大字引本浦濱田彌四郎へ下渡

右免狀本年六月一日付紛失ノ旨届出候條所在發見ノ者ハ最寄警察署又ハ分署へ届出ツヘシ之ヲ受テタル署ハ直ニ警察本部保安課へ通報スヘシ

○三重縣告示第八十二號 二十三年七月八日

陸軍下士以下父母病氣又ハ死亡ノ爲メ本人ノ歸郷ヲ願ハントスル時ハ親族ニ於テ願書ヲ

作リ(病氣ハ醫師ノ)市町村長ノ與書証印ヲ請ケ本人所屬ノ軍隊又ハ官衙ニ差出スヘシ
(診斷書ヲ添ヘ)

○三重縣告示第八十三號 二十三年七月八日

管下多氣度會蒼志英虞ノ官林並ニ官有山野共今般御料地へ編入本年七月一日ヨリ左ノ事務所開設ニ付テハ自今右料地ニ關スル願書ハ都テ正副ニ通該事務所長へ宛差出スヘキ旨
同事務所長心得御料局屬勝野正滿ヨリ通知越セリ

御料局度會事務所 度會郡宇治山田町大字今在家

○三重縣告示第八十四號 二十三年七月八日

長崎縣下ニ於テコレヲ病發生漸次蔓延ノ景況ニ付三重郡四日市港ニ於テ傳染病豫防規則ニ依リ該地方ヨリ來ル船舶ニ對シ本月六日ヨリ檢疫ヲ實施ス

○三重縣告示第八十五號 二十三年七月八日

本月三日各撰舉區ニ於テ執行セシ衆議院議員撰舉當撰者左ノ如シ

第一區 栗原亮一

第二區	伊藤祐賢
第三區	天春文衛
第四區	伊藤謙吉
第五區	尾崎行雄
第六區	立入奇一

○三重縣告示第八十六號 二十三年七月十一日

明治廿三年第二期安濃津重罪裁判所本月七日閉廳ノ旨該裁判長ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第八十七號 二十三年七月十一日

一鳥獸獵免狀 職獵第八六六〇號

明治廿二年十月廿九日 一志郡境村大字福田山下伊平へ下付分

一全 職獵第八九二五〇號

明治廿三年二月十日山田郡山田村大字千戶宮谷乙次郎へ下付分

右免狀盜難又ハ紛失之旨届出候條所在發見ノ者ハ最寄警察署又ハ分署へ届出ツヘン之ヲ受ケタル署ハ直チニ警察本部保安課へ通報スヘン

○三重縣告示第八十八號 二十三年七月十五日

本月(八日)第八十五號ヲ以テ告示セシ衆議院議員選舉當選者各承諾ノ旨届出タルニ付當撰証書ヲ付與セリ

○三重縣告示第八十九號 二十三年七月十八日

縣社以下神宮試驗ノ義ハ今般内務省伺濟別紙ノ通り學階授與規則相定メ自今以後該規則及細則ニ據リ施行候旨皇典講究所幹事長櫻井能監ヨリ届出タリ

(別紙)

學階授與規則

第一條 學業ノ淺深優劣ヲ品別スル爲ニ左ノ學階ヲ定ム

學正 自一等至五等

司業 自一等至八等

第二條 學正ハ總裁之ヲ授ケ司業ハ副總裁之ヲ授ケ

第三條 學階ヲ受ケタル者ハ本所ノ優待ヲ享クヘシ

第四條 何人ニ拘ハラヌ學階ノ授與ヲ望ム者ニハ左ノ科目ニ據リ試驗ヲ受ケシム

試驗科目

第一種

六國史 問題説明書取 令義解 全上 延喜式 全上

法曹至要抄 全上 源氏物語 全上 考證二題

作文三題 宣命体物語体唐宋文体

第二種

六國史 問題説明書取 令義解 全上 延喜式 全上

萬葉集 全上 考證一題 作文二題 宣命体唐宋文体

第三種

日本紀 講義書取
萬葉集 全上

古事記 全上

令義解 全上

第四種

古事記 講義書取

職原抄 全上

土佐日記 全上

作文二題 祝詞

第五種

古語拾遺 講義書取

祝詞式 全上

作文一題 祝詞

第五條 試驗第二種以上ヲ學正豫撰科目トシ本所ニ於テ之ヲ施行シ第三種以下ヲ可業豫撰科目トシ分所ニ於テ之ヲ施行ス

第六條 試驗合格不合格ヲ定ムル法ハ試業定則ニ依ル

第七條 試驗合格ノ者ニハ第一號書式ノ學階證ヲ與フ

第八條 著述編纂書ヲ以テ學力檢定ヲ受ケ相當學階ノ授與ヲ望ム者ハ之ヲ許スコトアルヘシ

第九條 既ニ學階ヲ受ケタル者昇階ヲ望ム時ハ更ニ相當ノ試驗ヲ受ケシム

第十條 試驗ヲ望ム者ニハ第二號書式ニ依リ願書又學業履歷書ヲ差出サシム

第十一條 學階ノ授與及昇等ヲ望ム者ニハ試驗手数料トシテ金壹圓ヲ納メシム

第十二條 本所遠隔ノ地ニ居住スル者第二種以上ノ試驗ヲ望ム時ハ分所ヲ經テ出願セン

第十三條 前條第二種以上ノ試驗ヲ分所ヲ經テ出願スル者アルトキハ本所ニ於テ其履歷書等ヲ點檢シ相當ノ願ト認ムルトキハ試驗科目ニ依リ問題ヲ下附スヘシ

第十四條 分所ニ於テ第三種以下ノ試驗ヲ施行シタル時ハ第三號書式ニ依リ撰學スヘシ

第十五條 新ニ學階ヲ受ケタル者ニハ第四號書式ニ依リ誓約書ヲ差出サシム

第十六條 左ニ掲クル者ハ學術優等ナルモ學階ヲ受クルコトヲ得ス

一品行不正ノ者

一犯罪處刑ノ者

一身代限ノ處分ヲ受テ辨償ヲ終ラサル者

第十七條 既ニ學階ヲ受ケタル者誓約書ニ違背シ又ハ前條ノ所業アル時ハ學階ヲ取上テ
公告ノ手續ヲナスコトアルヘシ

第一號 學階証書式

氏名

試験ノ成跡ニ依リ何等學正

(司業)ヲ除ク

用紙鳥ノ子四ツ切

年 所 日

印

皇典講究所總裁(副總裁)

氏名

第二號書式

試験願書

私儀今般學業ノ試験相受度(學階昇等致度)志願ニ付別紙學業履歷書御點檢ノ上第何
種科目ヲ以テ御試験被成下度此段奉願候也

年 月 日

族籍住所

氏名印

年月日生

本所(分所)宛

(別紙)

學業履歷書

族籍住所

氏名

年月日生

一何年何月ヨリ何年何月マテ何學業(塾)ニ入り(何某上ニ就キ)何學修業
 一何々 學術上ニ係ル賞狀賞品免許狀卒業證書等ヲ所持スル者ハ其與ヘタル藩府縣
 學校教師及其書面物品員數等ヲ此ニ記載シ別ニ書面寫ヲ添フ
 一何々 學術ヲ以テ擧用セラレタル履歷アル者ハ其大概ヲ此ニ記載ス
 一何年何月何等學正(司業)ヲ受ク (昇階ヲ望ム者ハ此一項ヲ加フ)
 右之通相違無之候也

右

年月日

氏名印

右氏名學師(學友)

証人氏名印

第三號

司業撰舉狀

(朱書)

族籍住所

第何種試驗甲(乙、丙)等

氏名

年月日生

右之通今般依願別紙學業履歷書ヲ点檢シ試驗施行候處朱書所標之通合格ニ付御詮議
 之上相當ノ學階御授與相成度此段撰舉致候也

年月日

教授重立タ印
 理事ル委員三名以印

分所長 上連署 印

副總裁宛

第四號書式

誓約書

私儀今般何等學正(司業)御授與相成候ニ付テハ今後右學階名稱ヲ汚スヘキ所業不致
ハ勿論本所(本分所)諸規則ヲ遵守シ御指揮ニ違背致問敷候此段誓約仕候也

學階

年月日

氏 名 印

右氏名學師(學友)

氏 名 印

右氏名親族

氏 名 印

副總裁宛

學階授與規則細則

第一條 學階授與規則第四條試驗取扱方ハ左ノ如シ

一 問題説明ハ一書三件講義ハ一書一件トス

一 書取時限ハ問題説明及講義ハ一件二時間作文ハ一題三時間考證ハ一題七十二時間トス

一 問題説明講義作文ハ何レモ試験場ニ於テ試験人面前ニ筆記セシメ考証ハ時限内隨所
隨意ニ筆記セシム

一 司業豫撰試験人ハ職員有之分所ハ長教授理事三名職員無之分所ハ委員三名以上トス

一 司業豫撰試験書取書類ハ分所ニ保存シ置キ本所ニ於テ臨時取調ヲ要スル時ハ通知ニ
ヨリ直ニ進達スルモノトス

第二條 學階授與規則第八條著述編纂書ヲ以テ學力ヲ檢定スルハ都テ本所ニ於テ取扱フ

モノトス故ニ遠隔ノ地ニ住スル者ニハ第十二條ニ準シ分署ヲ經テ出願セシム

但差出シタル書冊ハ返付セス若別ニ謄本ナキカ又ハ卷帙浩翰等ニシテ必返付ヲ要スル場合ニ於テハ其理由ヲ添申セシメ且本人ヨリ運送費ヲ支辨セシム

第三條 學階授與規則第十一條試驗手數料ハ第二種以上ハ全額ヲ本所ニ納メシメ第三種以下ハ其半額ヲ分所ニ止メ其半額ヲ本所ニ納メシム

但本所へ納付方ハ撰舉狀進達ノ際相添へ差出スモノトス

第四條 學階授與規則第十三條本所ヨリ下付シタル問題ハ分所ニ於テ受験人ヲ召喚シ一題ツ、臨時之ヲ交付シ試験ノ手續履行ノ後辨書取書類ヲ取纏メ本所ニ差出スモノトス

第五條 學階授與規則第十五條誓約書ハ學階証交付ノ際引換ニ差出サシム

第六條 學階ヲ受ケタル者神官撰舉ノ資格ハ左ノ如シ

府縣社祠官 五等司業以上

鄉社祠官 六等司業以上

府縣社祠掌 七等司業以上

鄉社社祠掌 八等司業以上

第七條 學階ヲ受ケタル者神官ニ撰舉セラレタル時撰舉狀ヲ添フヘキ學階証書寫ニハ被撰地所轄分所ノ割印ヲ要セシム

第八條 學階ヲ受ケタル者神官ノ任免及死亡等ハ各其類ヲ分チ分所ニ於テ毎月末ニ取調本所ニ届出ルモノトス

第九條 試験不合格ノ者ハ滿六ヶ月間再試験ヲ受ルコトヲ得サルモノトス

○三重縣告示第九十號 二十三年七月十八日

度會郡撰舉縣會議員北川矩一朝明郡撰舉縣會議員天春文衛今般衆議員ニ當撰レ縣會議員ノ職ヲ辭シタルニ付右補缺ノ爲來八月廿五日度會郡及朝明郡ニ於テ各撰舉會ヲ開設ス其開會ハ午前八時投票函閉鐘ハ午后三時トス

但度會郡撰舉分會場投票期日ハ八月廿三日トス

○三重縣告示第九十一號 二十三年七月二十二日

本年五月本縣告示第六十九號所得納稅者ノ住所姓名中へ左記ノ通追加ス(姓名略)

○三重縣告示第九十二號 二十三年七月二十五日

一鳥獸獵免狀 職獵第七七九二號 壹枚

明治二十二年十月八日安濃郡神戸村山中末吉へ下付ノ分

右免狀本年七月二日神戸村役場ニ至ルノ途遺失候旨届出候條所在見聞ノ者ハ最寄警察署分署へ届出之ヲ受ケタルノ署ハ警察本部保安課へ通報スヘシ

○三重縣告示第九十三號 二十三年七月二十五日

一鳥獸獵免狀 職獵第八一二五號

明治二十二年十月十八日度會郡南海村大字迫間藤井茂平へ下付ノ分

右紛失ノ旨届出候條所在見聞之者ハ最寄警察署又ハ分署へ届出之ヲ受ケタル署ハ直チニ警察本部保安課ニ通知スヘシ

○三重縣告示第九十四號 二十三年七月二十九日

今般名張郡藏持村大字狹田ノ名稱ヲ廢シ其區域ヲ同村大字藏持ニ編入ス

○三重縣告示第九十五號 二十三年七月二十九日

本年第三期安濃津重罪裁判廳本月二十四日ヨリ開廳ノ旨同裁判長ヨリ通知セリ

○三重縣告示第九十六號 二十三年七月二十九日

明治二十二年三月本縣告示第十九號本縣尋常簡易小學教員講習規則第六條試驗科目中讀書ノ次

ニ左ノ三科目ヲ増加シ及同第九條但書ヲ削除ス

一 歷史 概要 一 地理 概要

一 理科 初歩

○三重縣告示第九十七號 二十三年八月一日

御料局度會事務所長ノ義今般同局技師柴山景綱ニ被命候旨同所ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第九十八號 二十三年八月一日

一鳥獸獵免狀 貳葉

職獵第九六四二號 飯高郡森村大字森岡本勘兵衛へ下付

同第八九二六五號 同郡同村岡本惣吉へ下付

右明治二十二年度免狀紛失之旨届出候條所在見聞之者ハ最寄警察署分署へ届出テ之ヲ受ケタルノ署ハ警察本部保安課へ通報スヘシ

○三重縣告示第九十九號

一鳥獸獵免狀 貳枚

職獵第九二五八號 伊賀郡猪田村大字猪田宇平次へ下渡ノ分

同第八九三〇四號 名張郡比奈知村大字下比奈知西口卯吉へ下渡ノ分

右紛失ノ旨届出候ニ付所在發見ノ者ハ最寄警察署又ハ分署へ届出ヌヘク之レヲ受タル署ハ直ニ警察本部保安課へ通報スヘシ

○三重縣告示第百號 二十三年八月八日

一鳥獸獵免狀 一枚

職獵第九八四二號 飯高郡森村大字森岡本勘兵衛へ下付

右免狀三重縣告示第九十八號ヲ以テ紛失ノ旨告示候處今般發見ノ旨届出タリ

○三重縣告示第百一號 二十三年八月八日

御料局產物公賣規則別紙ノ通り被定候旨同局度會事務所ヨリ通知越セリ

(別紙)

御料地產物公賣規則

第一條 御料地產物ノ公賣ハ入札ヲ以テ之ヲ行フモノトス

第二條 公賣ハ豫メ之ヲ公告ス

第三條 公賣望之人ハ豫メ現場ニ就キ公賣ノ物件ヲ熟覽シ置クヘシ

第四條 左ニ記載シタル者ハ公賣ニ加入スルコトヲ許サス

一御料地產物拂受代金又ハ借地料金怠納中ノ者

一 御料地ニ關スル損害賠償金辨償金違約金等ノ償納ヲ終ヘサル者
一 公賣物件ニ對シ罪ヲ犯シタル者

第五條 入札ハ別紙第一號書式ニ據リ記載シ封緘シテ差出スヘシ

第六條 入札人若クハ其代人ハ公賣ノ席ニ參會スヘシ若シ參會セサル片ハ其入札ハ無効トス

但入札人ノ參會ヲ要セサルコトヲ公告シタル片ハ此限ニ非ス

第七條 公賣ハ最高價ノ者ニ落札ヲ申渡シ別紙第二號書式ノ落札違書ヲ交付スヘシ其最高價若シ見込價格ヨリ低價ナル片ハ其公賣ヲ取消スコトアルヘシ

第八條 入札ノ最高價ニ同額ノ者アル片ハ入札受領番號ノ順序ニ據リ落札ヲ定ム

第九條 公賣代金ハ落札ノ違ヲ受ケタル片五圓未滿ハ其全額ヲ即時上納スヘシ其五圓以上ハ全額ノ十分一ヲ約定金トシテ即時上納シ殘金ハ指定ノ期限内ニ之ヲ上納スヘシ

但拂受人ノ都合ニヨリ約定金ノ外殘金ノ幾分ヲ納メ又ハ即時皆納スルモ妨ナシトス公賣代金ノ全額又ハ約定金ヲ上納スル片ハ別紙第三號書式ニ據リ上納証ヲ差出スヘシ約定金ヲ上納スル片ハ別紙第四號書式ノ請書ヲ差出スヘシ

第十條 拂受人前條ノ約定金ヲ上納セサル片ハ其落札ノ効ヲ失フモノトス此場合ニ於テハ落札金額十分ノ一ヲ違約金トシテ上納スヘシ

拂受人自ラ其落札ノ取消ヲ請求シタル片モ亦同シ

第十一條 約定金并ニ拂下代價ノ幾分ヲ上納シタル者其殘金ヲ指定ノ期限内ニ上納セサル片及拂受人自ラ其落札ノ取消ヲ請求シタル片ハ其落札ヲ取消シ引渡シタル物件ハ之ヲ返付セシメ既納金ハ違約金トシテ之ヲ返付セサルモノトス此場合ニ於テ損害アル片ハ之ヲ辨償セシムヘシ

第十二條 拂受人ニ於テ約定金ヲ上納シタル片ハ其物件ヲ引渡スヘシ此場合ニ於テハ落札違書又ハ買(讓)受許可ノ指令書并ニ約定金又ハ皆金領收証書ヲ當該官吏ニ示シ其引

渡ヲ受ケタル片別紙第五號書式ノ請書ヲ差出シ引渡ヲ受ケタル後ハ拂受人ニ於テ保管スヘキモノトス

第十三條 拂受人ハ公賣代金ヲ皆納シタル後ニアラサレハ其物件ヲ斫伐採取及運搬スルコトヲ許サス

但本條ニ違背シタル者ハ其斫伐採取及運搬ニ係ル物件ノ代價ヲ即納セシメ仍違約金トシテ壹圓以上拾圓以内ヲ徵收ス

第十四條 木竹ノ根株ハ拂下外ノモノトス

但豫メ拂下ノ公告ヲ爲シタルモノハ此限ニ非ス

第十五條 拂受人ハ指定シタル期限内ニ其物件ヲ御料地又ハ所在地ヨリ搬出スヘシ

其期限内ニ搬出セサル者ハ違約金トシテ公賣代金ノ二十分ノ一ヲ上納セシムヘシ

但所有權ヲ拋棄シ又ハ天災時變ニヨリ期限ノ經過シタル片ハ此限ニ非ス

前項ノ場合ニ於テハ更ニ其搬出期限ヲ指定スヘシ若シ其期限ヲ過キ尙搬出セサル者ハ

其物件ノ所有權ヲ拋棄シタルモノトス

第十六條 拂受人其落札ノ權ヲ他人ヘ轉賣讓與セントスル片ハ別紙第六號書式ノ願書ヲ當該官廳ニ差出シ許可ヲ受クヘシ

其許可ヲ受ケタル買受人又ハ讓受人ハ別紙第七號書式ノ請書差出スヘシ

其買受人又ハ讓受人ノ權利義務ハ總テ落札人ニ異ナルコトナシ

第十七條 木竹其他產物採取ノ爲メ其御料地ニ傷害ヲ生シ又ハ生セントスル片若クハ拂

受人及雇人其御料地ニ關スル罪ヲ犯シタル片ハ其採取ヲ停止又ハ禁止スルコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於テ拂受人損失ヲ蒙ルコトアルモ當該官廳ハ其責ニ任セス

第十八條 前條第一項ノ採取ヲ禁止シタル場合ニ於テ其未採取ニ係ル物件ノ相當代價ヲ指定シテ之ヲ返付スヘシ

其故意ニ傷害ヲ與ヘ又ハ罪ヲ犯シタル片ハ之ヲ返付セサルヘシ

第十九條 前各條ニ記載シタル外別段ノ規則ヲ定メタル片ハ其規則ニ從フヘシ

明治二十三年八月 告示

五百十二

第壹號書式 公賣箇所物件ノ記載方ハ其都

度公告スル記載方ニ據ルヘン

入札書

何國何郡町大字何字何御料地

一何々 何程

此代金何程

右御料地產物公賣規則ヲ遵守シ入札候也

何府何國何郡何町大字何々番戶(寄留人ハ原籍并ニ寄留地共肩書スヘン)

年月日

族籍 何 某 印

御料局度會事務所

御 中

第二號書式

何 某

何々(第一號書式ノ通)

一何々 何程

此代金何程

(但即時上納)

但即時別紙納金切符ニ現金ヲ添ヘ御料局度會事務所現金取扱方何々所ヘ預ケ入レ証印ヲ得テ何月何日限リ御料局度會事務所ヘ上納

内

落札人參會セン片ノ例

金何程(約定金トシテ即時上納)

約定金トシテ即時別紙納金切符ニ現金ヲ添ヘ御料局度會事務所現金取扱方何々所ヘ預ケ入レ証印ヲ得テ何月何日限リ御料局度會事務所ヘ上納

金何程 御料局度會事務所現金取扱方何々所ヘ預ケ入レ其証印ヲ得テ何月何日限リ御料局度會事務所ヘ上納

右物件公賣候處其許高價ニ付拂下候條代金ハ前記之通上納スヘン

明治二十三年八月 告示

五百十三

年月日

御料局度會事務所

第三號書式

記

一金

何々何程代(ノ内)

但公賣ニヨリ御拂下代(公賣ニヨリ御拂下代金何程ノ内約定金)
右上納仕候也

(肩書第一號書式ニ同シ)

年月日

拂受人 何 某

御料局度會事務所

官氏名殿

第四號書式

相當ノ証券印紙
貼用スヘシ

御請書

一金何程

落札金高

金何程

約定金トシテ上納

金何程

殘金未滿

右ハ今般何國何郡何(町村)大字何字何御料地ノ何々何程公賣ニ依リ私ハ落札御達相成
候ニ就テハ落札金額ノ内前書之通本日上納殘金ノ義ハ何年何月何日限無相違上納可仕
且御料地產物公賣規則遵守可仕候依テ保証人連署請書差上候也

(肩書第一號書式ニ同シ)

年月日

拂受人 何 某 印

(全人)

保証人 何 某 印

御料局度會事務所

御中

第五號書式 相當証券印紙 貼用スヘシ

御請書

何々(第一號書式ノ通)

一何々

何程

右現物件實地御引渡相成正ニ請取申候就テハ何年何月何日限リ悉皆御料地ヨリ撤出可仕候且御料地產物公賣規則遵守可仕候依テ保証人連署請書差上候也

(肩書第一號書式ニ同シ)

買受人 何某 印

保証人 何某 印

御料局度會事務所

御中

第六號書式

何々(物件ノ名)賣渡願

何々(第一號書式ノ通)

一何々

何程

此落札代金何程

(皆金約定金上納以前ノ片ノ例(但未滿))

(代金皆納以後ノ片ノ例(但皆納濟))

内

約定金上納後殘金 金何程 約定金トシテ甲某ヨリ上納濟

上納以前ノ片ノ例 金何程 殘金未納ニ付乙某ヨリ何年何月何日限上納スヘキ分

右ハ何年何月何日公賣ニテ甲某ハ落札相成候處今般双方協議ノ上乙某ハ買(讓)受申度尤モ乙某ニ於テ御料地產物公賣規則遵守可仕ハ勿論甲某ノ責任ハ總テ負擔可仕候間御許可被成下度此段奉願候也

但御許可ノ上ハ丙某ヲ以テ保証人ニ相立可申候

(肩書第一號書式ニ全ク)

賣渡人 何某印

(全上)

買受人 何某印

(全上)

保証人 何某印

御料局度會事務所

御中

第七號書式其一

(相當証券印紙
貼用スヘシ)

御請書

一金何程

落札金高

内

約定金トシテ上納

殘金未納

金何程

金何程

右ハ今般何國何郡何(町村)大字何字何御料地ノ何々何程公賣ニ付何某へ落札相成候處
双方協議ノ上御許可ヲ受テ私へ買(讓)受候ニ付テハ落札金額ノ内前書ノ通本日上納殘
金ノ儀ハ何年何月何日限無相違上納仕且御料地產物公賣規則遵守可仕候依テ保証人連
署請書差上候也

(肩書第一號書式ニ同シ)

買受人 何某印

(同上)

保証人 何某印

御料局度會事務所

御中

年月日

第七號書式其二

御請書

何々(第一號書式ノ通)

一何々 何程

此代金何程 落札金高

内

金何程 約定金トシテ何某ヨリ上納済

金何程 殘金未滿

右何年何月何日公賣ニテ何某へ落札相成候處今般雙方協議ノ上御許可ヲ受テ私へ買(讓)受候ニ就テハ前書殘金ノ義何年何月何日限無相違上納可仕ハ勿論標記現物件正ニ請取候ニ付何年何月何日限悉皆御料地ヨリ搬出可仕候且御料地產物公賣規則遵守可仕候依テ保證人連署請書差上候也

(肩書第一號書式ニ同シ)

年月日 買受人 何某 印

(同上)

保證人 何某 印

御料局度會事務所

御中

第七號書式其三(相當証券印紙)

ヲ貼用スヘシ

御請書

何々(第一號書式ノ通)

一何々 何程

右何年何月何日公賣ニテ何某へ落札相成候處今般雙方協議ノ上御許可ヲ受テ私へ買(讓)受現物件正ニ請取候付テハ何年何月何日限悉皆御料地ヨリ搬出可仕且御料地產物

公賣規則遵守可仕候依テ保証人連署請書差上候也

(肩書第一號書式ニ同シ)

年月日

買受人 何 某 印

(全上)

保証人 何 某 印

御料局度會事務所

御 中

○三重縣告示第百二號 二十三年八月十二日

海軍々樂生志願ノ者ハ明治二十二年勅令第六十八號海軍志願兵徵募規則及ヒ同年海軍省令第五號全兵徵募細則ニ依リ來ル九月三十日迄ニ願書ヲ郡市役所ニ差出シ郡市長ハ全細則第三條ニ依リ之ヲ調査シ十月八日迄ニ本廳へ進達スヘシ

○三重縣告示第百三號 二十三年八月十九日

大日本農會

大日本農會定期品評會開設ニ付左ノ通申越候條同會々員及篤志者ハ可成出品スヘシ
農產品評會規則 明治二十二年四月改正

第一條 本會ニ於テ毎年農產品評會ヲ開設ス

但會場ノ位置及ヒ期日ハ豫報告書ヲ以テ報道ス

第二條 本會々員タル者ハ總テ自家ノ農產物並ニ製品ヲ出陳スルコトヲ得其出品重大ナルモノハ豫本會ノ承諾ヲ受クヘシ

第三條 本會々員外ト雖篤志者自家ノ農產物並ニ製品ハ特ニ其出陳ヲ諾スルコトアルヘシ

第四號 毎回主トシテ品評スヘキ品目ハ豫報告書ヲ以テ報道ス

但其品目外ノ農產物並ニ製品ヲ出陳スルハ固ヨリ隨意タルヘシ

第五條 出品者ハ其主トシテ品評スヘキ品ニ關スル圖書、物品等ヲ參考品トシテ出陳スルコトヲ得

第六條 官廳諸會社等ノ農產物並ニ製品ハ本會ヨリ特ニ出陳ヲ請フコトアルヘシ

第七條 出品ノ員數ハ其容積ノ大小、重量ノ輕重ニヨリ左ノ制限内ニ於テ便宜増減スヘ

第一 斤ヲ以テ稱スルモノハ壹斤ヨリ五斤マテ

第二 升目ヲ以テ稱スルモノハ壹合ヨリ貳升マテ

第三 個ヲ以テ稱スルモノハ貳個ヨリ拾個マテ

第四 把ヲ以テ稱スルモノハ壹把ヨリ五把マテ

第五 枚ヲ以テ稱スルモノハ貳枚ヨリ拾枚マテ

第六 本ヲ以テ稱スルモノハ貳本ヨリ拾本マテ

第八條 穀菽類ヲ粉若クハ莢ナカラ出品スルトキハ必其粉若クハ莢ヲ脱シタルモノヲ添フヘシ

第九條 出品ハ途中腐敗若クハ毀損等ノナキヤウニ開會前日マテニ必本會ニ若スルヤウ送スルヲ要ス

但其品評後ニ至リテ到着シタルモノハ豫別段ノ報知アルニ非レハ直ニ出品主ニ返付ス

第十條 出品ニハ出品主ノ府縣國郡區町村、氏名及ヒ物名、員數、賣價(非賣品ナレハ其旨)ヲ記シ且成ルヘク移植ノ原由年月、種類、產地ノ風土、地質、種莖、培養、保護、収量、飼養、製造、需用、損益、從來受賞ノ有無、發明等ヲ詳記シテ添フルヲ要ス

但出品ヲ持參スルモノハ自ラ口頭ニテ説明スルモ妨ケナシ

第十一條 出品ハ品評委員之ヲ品評シ其優等ナルモノニハ本會々頭ヨリ褒賞ヲ付與ス

但品目外ノ出品ハ此限ニ非スト雖本會ノ意見ニヨリテ與フルヲアルヘシ

第十二條 一人ニシテ同時數區ニ出品シ其優等ノ品評ヲ得タルモノニハ每區一品ヲ限リ褒賞ヲ付與ス

但此場合ニ在リテ本會々員ニ付與スル賞狀ニハ其最優等ノ分ニ限リ賞金賞品ヲ添フルヲアルヘシ

第十三條 本會々員ニ付與スル賞狀ニハ賞金賞品等ヲ添フルコトアルヘント雖本會々員外ニ付與スル賞狀ニハ之ヲ添ヘス

第十四條 出品ハ其精粗良否等ニツキテ本會ノ評說アルモノニ限リ閉場後評說書ヲ出品主ニ送附スルコトアルヘン

第十五條 會場整頓、出品陳列等ニ關スル一切ノ事務及ヒ費用ハ本會ニ於テ負擔ス

但出品運送費ハ總テ出品主ノ自辨トス故ニ其持込配達賃ハ本會ニ於テ支辨ノ後追徴シ税賃不足、先拂等ノ出品ハ本會ニ受入セスシテ直ニ返付ス

第十六條 出品ハ開場中賣買ヲ約定スルコトヲ得ルト雖閉場后ニ非サレハ場外ニ持出スコトヲ許サス

第十七條 出品ハ豫別段ノ報知アルニ非サレハ出品主ニ返付セス

但賣却シタル物品ニ限リ其代金中ヨリ爲換手數料郵便稅等ヲ引去リテ殘金ヲ返付ス第十八條 出品主ノ出京スルト否トハ隨意タルヘン

但旅費ハ自辨トス

第十九條 品評委員ハ本會會頭ヨリ本會ノ農藝委員及ヒ其業ニ熟練ナル者ヲ撰定シテ之ニ充ツ

第二十條 品評委員ハ每品品評表ヲ製シ褒賞ノ等位ヲ案シテ品評委員長ヨリ出品評委員長ハ之ヲ本會會頭ニ出シテ裁定ヲ請フモノトス

第二十一條 品評委員ハ自己ノ出品ヲ品評スルコトヲ得ス

第二十二條 出品ハ本會ニ於テ成ルヘク丁寧ニ保護スト雖非常ノ損害ハ其責ニ任セス

第二十三條 會場ハ公衆ノ入觀ヲ許ス其通見料ハ一人金貳錢トス

但本會々員ハ本會証ヲ携フルトキニ限リ其家族并ニ朋友三名以内ヲ誘引スルモ共ニ入場料ヲ要セス人員ハ時宜ニヨリ之ヲ限リ或ハ全ク止ムルコトアルヘン

○三重縣告示第四百四號 二十三年八月廿二日

任控訴院評定官

安濃津始審裁判所長 田中 春風

任安濃津始審裁判所長

名古屋始審裁判所長 久保 秀景

右之通宣下相成候ニ付新任所長着任マテ始審裁判所判事荒川正忠代理候旨同所ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第五號 二十三年八月二十二日

任始審裁判所判事

安濃津始審裁判所上席檢事 内田 常矩

安濃津始審裁判所詰ヲ命ス

名古屋始審裁判所上席檢事 渡邊 融

右之通任命相成候ニ付新任檢事青木素代理候旨通知越セリ

○三重縣告示第六號 二十三年八月二十二日

來ル十月二十一日ヨリ向三十日間東京上野公園櫻ヶ岡日本美術協會列品館ニ於テ繪畫展覽會ヲ開設シ新製繪畫ヲ採集シ名家ノ分ハ可成陳列致度旨同會々頭ヨリ申越候條有志者ハ精々出品スヘシ但出品ニ對スル費用ハ出品人自辨タルヘシ

○三重縣告示第七號 二十三年八月二十二日

告示第三百三號大日本農會定期品評會ノ義ハ來ル九月下旬兵庫縣下神戸港ニ於テ五日間開設シ主トシテ 麥、菜種、製茶、烟艸、繭糸、蔬菜、果實、等ヲ品評シ會場ハ兵庫縣會議事堂ヲ借用シ開會前出品ノ受入ハ同縣勸業課ノ補助ヲ得ル旨同會幹事長ヨリ申出タリ

○三重縣告示第八號 二十三年八月二十二日

一鳥獸獵免狀 職獵第八四〇號

明治二十三年度下附

三重郡境濱村大字馳出清水定吉へ下付

右免狀明治二十三年八月十三日付紛失ノ旨届出候間所在發見ノ者ハ最寄警察署又ハ分署へ届出ツヘシ其届出ヲ受タル署ハ警察本部保安課へ通報スヘシ

○三重縣告示第九號 二十三年八月二十九日

安濃津始審裁判所長 久保 秀景
同檢事 渡邊 融

右着任本月廿五日ヨリ事務取扱候旨通知越セリ

○三重縣告示第一百十號 二十三年九月二日
官林及官有山野ノ將來官林ニ編入ヲ要スル地所大阪大林區署ニ於テ境界調査ノ節ハ出張員ヨリ其地隣接地主ノ立會ヲ請求スヘキ筈ニ付其旨心得ヘシ

○三重縣告示第一百十一號 二十三年九月二日
本年(七月)告示第九十條朝明郡度會郡撰舉縣會議員補欠撰舉會ニ於テ左記ノ者當撰セリ

朝明郡川越村

朝明郡撰舉 內田 忠 造

度會郡宇治山田町

度會郡撰舉 白井清榮門

○三重縣告示第一百十二號 二十三年九月二日
一鳥獸獵免狀遺失ノ件(略)

○三重縣告示第一百十三號 二十三年九月九日

本年蠶種検査所ノ位置、區域、検査期日左ノ通り相定メ検査候條検査出願ノ者ハ検査ノ初日ニ蠶種ヲ検査所ヘ差出スヘシ

検査所名稱	位 置	検査區域	檢 査 期 日
山田 蠶種検査所	度會郡役所	度會、荅志、英虞、南牟婁、北牟婁	廿三年十月一日 二日 三日 四日 五日 六日
松坂 蠶種検査所	飯高飯野郡役所内	飯高、飯野、多氣	同日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日
上野 蠶種検査所	阿拜山田郡役所内	阿拜、山田、名張	同日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日
四日市 蠶種検査所	三重朝明郡役所内	三重、朝明、桑名	同日 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日
龜山 蠶種検査所	鈴鹿郡役所内	鈴鹿	同日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日 卅一日 卅二日
新町 蠶種検査所	安濃郡役所内	安濃、奄藝、河曲	同日 卅三日 卅四日 卅五日 卅六日 卅七日 卅八日 卅九日 卅十日

○三重縣告示第一百十四號 二十三年九月十二日

大日本農會定期品評會ノ儀ハ九月下旬兵庫縣下神戸港ニ於テ開設ノ旨本年八月第百七號

ヲ以テ告示ニ及ヒ置キシ處右ハ都合ニヨリ十月五日ヨリ九日迄五日間同港ニ於テ開設ノ事ニ改定セシ旨同會ヨリ通知アリ

○三重縣告示第百十五號 二十三年九月十二日

安濃津始審裁判所長 久保 秀景
同所檢事 渡邊 融

右本月七日ヨリ上京ニ付不在中所長事務ハ同所判事荒川正忠代理シ檢事局事務ハ同所檢事青木素代理スル旨通知越セリ

○三重縣告示第百十六號 二十三年九月十六日

一鳥獸獵免狀紛失ノ件 (略)

○三重縣告示第百十七號 二十三年九月十九日

本年第四期安濃津始審裁判所管内各治安裁判所出張所開廷日割左記ノ通相定候旨同所ヨリ通知越セリ

開廷日割(略)

○三重縣告示第百十八號 二十三年九月三十日

安濃津始審裁判所長久保秀景上京不在中始審裁判所判事荒川正忠職務代理候處本月二十五日歸任翌二十六日ヨリ職務取扱候旨通知越セリ

○三重縣告示第百十九號 二十三年十月三日

本年第四期安濃津始審裁判所出張所開廷日割ノ義去ル九月中第百十七號ヲ以テ告示及置候處裁判所構成法實施前ニ付都合ニ依リ延期セシ旨通知越セリ

○三重縣告示第百二十號 二十三年十月二日

安濃津始審裁判所檢事渡邊融上京ノ處去廿九日歸廳致候旨同所ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第百二十一號 二十三年十月四日

奄藝郡撰舉縣會議員林宗右衛門今般貴族院議員ニ任セラレ縣會議員ノ職ヲ辭シタルニ付右補欠ノ爲メ來ル十一月四日該郡ニ於テ撰舉會ヲ開設ス其開會ハ午前八時投票兩閉鎖ハ

午後三時トス

○三重縣告示第百廿二號 二十三年十月十日

安濃津始審裁判所長久保秀景事務視察ノ爲ノ本月八日龜山出張所外ニテ所へ出張ニ付不在中始審裁判所判事佐藤直信總務代理候旨通知越セリ

○三重縣告示第百廿三號 二十三年十月十日

一鳥獸獵免狀 第八四〇號 壹枚

右紛失ノ旨本年八月第百八號ヲ以テ告示置候處今般發見ノ旨届出タリ

○三重縣告示第百二十四號 二十三年十月十八日

津市ニ於テ徵收スル市稅中建家坪割ハ直接稅トス

○三重縣告示第百二十五號 二十三年十月十八日

明治廿四年度通常縣會來ル十一月一日ヨリ開會ス

○三重縣告示第百二十六號 二十三年十月二十一日

安濃津始審裁判所長久保秀景龜山外ニテ所へ出張中始審裁判所判事佐藤直信總務代理候處本月十八日歸任廳務取扱候旨通知越セリ

○三重縣告示第百二十七號 二十三年十月二十四日

安濃津第一監獄ヲ三重縣監獄署安濃津第二監獄ヲ三重縣津監獄支署山田監獄ヲ三重縣山田監獄支署四日市監獄ヲ三重縣四日市監獄支署上野監獄ヲ三重縣上野監獄支署ト改稱ス

○三重縣告示第百二十八號 二十三年十月二十八日

本年法律第七十一號軌道條例ニ據リ出願セントスル者願書差出之節其國縣道ノニ關スルモノハ當廳其他ハ工事所屬ノ郡市役所ヲ經由スヘシ

○三重縣告示第百二十九號 二十三年十一月四日

補安濃津地方裁判所檢事正(明治二十三年十月二十三日)

檢事 渡 邊 融

山田區裁判所詰ヲ命ス(同二十六日)

檢事 三 俣 秀 彦

安濃津區裁判所詰ヲ命ス(同二十九日)

檢事 青木 素

四日市區裁判所詰ヲ命ス(同二十六日)

檢事 大岩金次郎

上野區裁判所詰ヲ命ス(同上)

檢事 高橋莊之助

右之通り補命アリタル旨去月三十日安濃津始審裁判所檢事ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第三百十號 二十三年十一月七日

本年(十月)本縣告示第百廿一號奄藝郡選舉縣會議員補缺撰舉會ニ於テ左記ノ者當撰セリ

奄藝郡黒田村 鈴木顯治郎

○三重縣告示第三百三十一號 二十三年十一月七日

直稅分署及間稅分署設置ノ場所左ノ如シ

桑名 直稅分署 桑名郡桑名町大字三ノ丸

大泉原 直稅分署 員辨郡大泉原村大字楚原

四日市 間稅分署 三重郡四日市町大字八幡町

龜山 直稅分署 鈴鹿郡龜山町大字西丸

白子 直稅分署 奄藝郡白子町大字江島

津 直稅分署 津市大字榮町

久居 直稅分署 一志郡久居町大字東鷹跡町

松坂 直稅分署 飯高郡松坂町大字新町

相可 直稅分署 多氣郡相可村大字相可

宇治山田 直稅分署 度會郡宇治山田町大字下中ノ郷町

上野 直稅分署 阿拜郡上野町大字西町

名張 直稅分署 名張郡名張町

鳥羽 直稅分署 荅志郡鳥羽町大字鳥羽町

片鷲 直稅分署 北牟婁郡尾鷲町大字尾鷲中井浦

木本 直稅分署 南牟婁郡木本町大字木本

○三重縣告示第三百三十二號 二十三年十一月七日

補安濃津地方裁判所檢事兼安濃津區裁判所檢事 檢事 代 永 寛

右去月二十二日補命相成タル旨安濃津地方裁判所檢事正ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第三百三十三號 二十三年十一月十一日

明治二十四年陸軍各兵科現役士官候補生及陸軍幼年學校生徒召募相成候ニ付志願ノ者ハ本月陸軍省告示第十一號ニ依リ來ル二十四年一月十日迄ニ志願書ヲ所屬郡市長ニ差出スヘシ郡市長ハ各志願ノ者身分、財産、教育、質性、品行等ノ証明書ヲ願書ニ添ヘ同月十五日限リ本廳ニ差出ス可シ

○三重縣告示第三百三十四號 二十三年十一月十一日

明治二十一年(十月)三重縣告示第一百十二號ヲ廢ス

○三重縣告示第三百三十五號 二十三年十一月十四日

愛知縣下知多郡西ノ口村大字瀧池海岸ヘ左記ノ人相ノ溺死人(男子)漂着ノ同縣ヨリ通知

アリ心當ノ者ハ速ニ其旨同縣半田警察署ヘ申出ツヘシ (休相書略)

○三重縣告示第三百三十六號 二十三年十一月十四日

本年勅令第六十九號官有森林原野及產物特別處分規則第一條第二項ニ據リ原野拂下出願セントスル者ハ同年農商務省訓令第三十四號ノ趣モ有之ニ付地元町村長ヲ經由シ總テ書留郵便ヲ以テ郡市役所ヨリ進達ノ節ハ其封筒ヲ添付スヘシ

○三重縣告示第三百三十七號 二十三年十一月二十一日

明治二十三年十二月海軍兵學校機關生徒十名召募相成候條明治三年八月一日以後七年八月一日以前出生ニテ志願ノ者ハ來ル十二月十日限リ志願書ヲ本廳ヘ差出スヘシ

但本文生徒志願者心待并ニ檢査格例ハ本月十七日官報ニ就テ見ルヘシ (廿三年告示第四百一號附屬ノ分則別)

○三重縣告示第三百三十八號 二十三年十一月二十六日

明治二十三年度土木費町村土木補助費縣會議諸費縣監獄費追加豫算及同年度收入追加豫算并ニ明治廿四年度町村土木補助費地方稅取扱費追加豫算及同年度收入追加豫算其他寄

附金買物件等議定ノ爲メ明治二十四年度通常縣會閉場後引續キ臨時縣會ヲ開設ス

○三重縣告示第三百三十九號 二十三年十一月二十八日

本年(八月六日)法律第五十八號電信線建設條例ヲ以テ民有地ニ建設シタル電柱ノ敷地手當金額一定相成候處既設電柱ニ係ル本年度手當金計算方ハ該法發布ノ月即チ八月以前ニ屬スル分ハ舊例ニ九月以後ニ屬スル分ハ新法ニ基キ各其額ヲ月割算當シ手當金請求書調製差出スヘシ

○三重縣告示第四百十號 二十三年十一月三十日

明治二十四年度通常縣會議事決了本日閉會ス

○三重縣告示第四百十一號 二十三年十二月二日

本年當縣告示第三百三十七號(明治三年八月一日以後同七年八月一日以前出生ニテ)ノ二十三字ヲ刪除ス

○三重縣告示第四百十二號 二十三年十二月三日

本月一日ヨリ開設セシ臨時縣會ヘ土木事業執行ニ關スル件ヲ諮問ス

○三重縣告示第四百十三號 二十三年十二月七日

本月一日ヨリ開設セシ臨時縣會議事結了本日閉場ス

○三重縣告示第四百十四號 二十三年十二月十二日

伊賀全國

豫備後備役下士兵卒簡閱點呼召集ハ來ル二十四年一月中旬ヨリ三月中旬迄ノ間ニ於テ施行スル旨第七旅團長ヨリ通知アリ

○三重縣告示第四百十五號 二十三年十二月十六日

開業獸醫及蹄鐵工(假開業獸醫及ヒ假開業蹄鐵工ヲ除ク)ニシテ轉居シタルトキハ其都度當廳ヘ届出ツヘシ

○三重縣告示第四百十六號 二十三年十二月十六日

鑛山借區出願人ニシテ本年七月農商務省令第七號第五條ニ據リ鑛物標本ヲ差出スモノハ方三寸深サ五寸ニ超ヘサル箱ニ詰メ蓋面ニ日月產地差出人ノ住地氏名ヲ明瞭ニ記載シ尙

ホ箱中へ其產地并ニ鑛物ノ附屬スヘキ借區願書ノ出願年月日ヲ記シタル紙札ヲ差入ルヘ

○三重縣告示第四百十七號 二十三年十二月十六日

本縣請願巡査費徵收法今般通常縣會ノ決議ヲ經テ左ノ通り相定ム

請願巡査費徵收法

請願者ヨリ納ムヘキ費用ハ通常縣會ニ於テ決定シタル警察費豫算ニ基キ其人員ニ應シ左ノ割合ヲ以テ之ヲ徵收ス

但シ此ノ方法ハ二十三年度二十四年度ニ通シテ施行スルモノトス

一 巡査月給

右ハ豫算平均一人當リノ金額ニ依ル

一 旅費

右ハ配置タ所ニ要スル實際ノ里程ニ依ル

一 給助賜金

一 勉勵賜金

右ハ豫算總額(勉勵賜金ハ雇及小使ニ要スルモノヲ除ク)ヲ巡査總員ニ割當タル者ヲ以テ一人分ノ金額トス

一 被服費

右ハ豫算一個當リノ金額ニ依リ巡査一人分ニ要スル數量ヲ以テ積算ス

一 備品 但呼子笛、捕繩、提灯、帽章、外套、靴皮、劍、帶ノ類

右ハ新調品豫算ノ一個當リ金額ニ依リ累年配置ニ係ルモノハ修繕費トシテ新調品一個當リ金額ノ三分ノ一トス

一 消耗品 但手帖

右ハ被服費ニ同シ

一 雜費 但巡査宿代

右ハ市街ニ受持巡査ト同一ノ金額トス但請願者ニ於テ住宅供給スルキハ宿料ヲ徵セス

○三重縣告示第四百八十八條 二十三年十二月十九日
一鳥獸獵免狀紛失ノ件 (畧)

○三重縣告示第四百四十九號 二十三年十二月十九日
本年十一月十一號勅令第二百七十一號印紙類賣下賣捌規則ハ明治二十四年一月一日ヨリ實施ス

○三重縣告示第五百十號 二十三年十二月二十三日
南牟婁郡撰舉縣會議員補欠撰舉會開設(畧)

但撰舉分會場投票期日ハ二月二日トス

○三重縣告示第五百一十一號 二十三年十二月二十三日

管下伊勢國飯高郡内新道左記之通仮定縣道和歌山街道ニ組換ヘ之ヲ本道ト定ム

一飯高郡粥見村ヨリ同郡波瀨村ニ至ル間ノ新道

○三重縣告示第五百二十二號 二十三年十二月二十六日

明治十四年六月廿八日 甲第九十三號諭達(明治十八年五月二十一日甲)ハ廢止ス
番外種痘施術心得書ヲ除ク

○自明治廿三年一月三號至十二月三號 三重縣報告之部

○三重縣報告第一號 二十三年一月十日

第三師團ニ於テ皮痘病馬發見ノ義ハ彙ニ報告シ置キシカ尙三頭同病ニ罹候旨愛知縣廳ヨリ通知越セリ

○三重縣報告第二號 二十三年一月二十一日

奈良縣下奈良大佛殿ニ於テ例年ノ通り來ル三月一日ヨリ五月二十八日迄博覽大會開設ニ付管下著名ノ物産精々出品候様該縣ヨリ依頼越セリ但シ同會規則ハ左ノ通

奈良博覽大會出品規則

一本會ハ農工商諸業ヲ獎勵シ將來物産ヲシテ繁殖隆盛ナラシメシカ爲汎ク古器物及ヒ教育器具ヲ始メ内國諸產物ヲ蒐集展列シ衆庶ノ縱覽ニ供シ各品ノ精粗優劣ヲ比較參酌シ以テ販路ノ廣狹時好ノ如何ヲ明ニシ漸ク改良ノ途ニ就カシムルノ便益ヲ謀ルニアレハ出品者ハ左ノ條々ニ照準シ勉メテ出品アラソコトヲ望ム

- 第一條 出品セント欲スルモノハ出品目錄ヲ製シ一月三十日ヲ期トシ會社ヘ寄送スヘシ
- 第二條 出品ヲ寄送スルハ二月二十日ヲ限リトス但止ヲ得サル場合アルカ或ハ期節ヲ要スルモノハ此限ニアラス
- 第三條 出品ハ荷物一個毎ニ入記目錄ヲ添ヘ奈良博覽會社ニ宛テ送附スヘシ受取返戻トモ同所ニ於テ取扱フヘシ
- 第四條 出品目錄ハ賣非賣ノ二部ニ分チ賣品ハ物名代價等ヲ墨ニテ記シ非賣品ハ朱ニテ書スヘシ共ニ一品毎ニ番號ヲ附シ差出スヘシ
- 第五條 古器物ハ其考証トナルヘキ書類或ハ口碑ニ存スルコト等詳細之ヲ記載スヘシ且非賣品ト雖モ價額ヲ示サン爲可成其代價ヲ記スヘシ
- 第六條 新發明ノ器械稀有ノ古物ヲ始メ新ニ發見セル礦物藥種ノ類ハ其運轉法原由傳來分拆經驗功用製法等詳記シタル書面ヲ添フヘシ
- 第七條 内外博覽會等ニテ褒賞ヲ得タル者ハ必ス其褒詞或ハ賞牌ノ寫ヲ付スヘシ

- 第八條 出品ノ内一種一品ニテ賣ルヲ得サルモノハ非賣品ノ札ヲ附スヘシ
- 第九條 出品ノ内賣品ハ一個毎ニ其賣價ヲ記シタル札ヲ附スヘシ
- 第十條 賣品ニシテ見本ノ爲メ出品スルモノハ必ス見本ノ札ヲ附スヘシ
- 第十一條 列品中現品ノミニテ其性質功用ヲ知ル能ハサル者ハ可成其解說ヲ簡略ニ記載シタル標札ヲ附スヘシ
- 第十二條 凡テ出品ハ永ク損敗セス終會マテ保存シ得ヘキヲ要ス若シ朽敗腐爛スルモ會社ハ辨償ノ責ニ任セス
- 第十三條 陳列ノ物品ハ附札ノ定價ヲ増減セス發賣スルモノナレハ務メテ廉價精品ナラソコトヲ望ム
- 第十四條 危險又ハ汚穢物等ハ之ヲ積斥スルコトアルヘシ
- 第十五條 動植物ヲ出ス者ハ必ス飼畜培養法ヲ詳記シ差出スヘシ其方法ヲ以テ之ヲ飼養シ若シ枯渴斃死スルコトアルモ會社其責ニ任セス

第十六條 季節ニ關スル動植物ノ類ハ臨時ニ出入スルコトヲ得ヘシ

第十七條 出品到着セハ目錄ト引合セ預リ證ヲ渡シ置キ終會後此証ト引換返戻スヘシ

但品主ノ都合ニヨリ返戻ヲ請フ時ハ何時ニテモ預リ証ト引換返戻スヘシ

第十八條 出品陳列方ハ會社ニ於テ擔當スヘシト雖トモ品主ニ於テ自ラ陳列セント欲スルモノハ會社ノ差圖ニ應スヘシ

但出品陳列又ハ引取ノ爲出頭スル等ノ費用ハ自辨タルヘシ

第十九條 陳列ニ用ユヘキ飾臺飾箱敷布等ハ會社ニ於テ適宜之ヲ設クヘシト雖トモ別段ノ望アレハ前以テ事務所ヘ協議スヘシ

第二十條 出品看護人ハ會社ヨリ之ヲ置クヘシ尤モ出品ノ都合ニヨリ自費ヲ以テ之ヲ出スモ妨クナシ

但自費ノ看護人ト雖トモ會社諸規則ヲ遵守スヘシ

第二十一條 出品物荷造リハ極メテ大切ニ注意スヘシ運送中ノ破損及災害ハ會社其實ニ

任セス

第二十二條 物品運送費ハ往復トモ自辨タルヘシ

但會社ヨリ特ニ懇望スル物品及豫メ書面ヲ以テ會社ヘ協議シ承諾ヲ得タル分ハ自辨ノ限リニアラス

第二十三條 陳列ノ物品ハ會社ニ於テ嚴重保護ヲナスト雖モ風火震災等非常ノ變害ハ其責ニ任セス

第二十四條 物品紛失若シクハ竊盜ニ係ル時ハ出品主ト示談ノ上會社ハ若干ノ辨償ヲナスヘシ

但出品者自ラ看護スル所ノモノハ此限ニアラス

第二十五條 出品ノ内賣却品ハ手数料トシテ賣場金高百分ノ二(則金壹圓ニ付貳錢)會社ヘ收入シ會場諸費ヲ補フモノトス尤自費ヲ以看護人ヲ付クル者ハ此限ニアラス

第二十六條 出品賣場金及物品ハ閉場後三週日間ニ預リ證書ト交換返送スヘシ

○三重縣報告第三號 二十三年一月二十八日
本縣尋常師範學校生徒第二種四名募集候條志願ノモノハ來ル二月二十八日限リ願書同校
へ差出シ同三月三日午前第九時試驗用器具携帶同校へ出頭スヘシ

○三重縣報告第四號

明治二十二年 自十二月一日 一ヶ月間縣下各郡傳染病患者表
至十二月三十一日

○三重縣報告第五號 二十三年二月十四日

來ル三月二十五日ヨリ五月三十一日マテ東京上野公園櫻ヶ岡日本美術協會列品館ニ於テ
美術展覽會ヲ開設シ廣ク古美術ヲ品採集陳列スヘキニ付社寺其他所藏品中殊ニ著明ニシ
テ工人ノ觀覽ニ供シ裨益アル美術品ハナルヘク出品アリタキ旨依頼越セリ依テ左記同會
規則ノ旨趣ニ基キ出品スヘシ
但出品運送費ハ出品者ノ自辨タルヘシ
明治二十三年美術展覽會規則

第一條 本會ハ明治二十三年三月二十五日ヨリ五月三十一日マテ上野公園櫻ヶ岡日本美
術協會列品館ニ於テ開會ス

第二條 本會ノ出品ハ明治已前ノ製作ニシテ其種類ハ概テ左ノ如シ

- 畫 書 建築園治 彫 刻 嵌木指物 陶 磁
- 玻 璃 七 寶 金屬器 漆器蒔繪 繡 織
- 其他美術ニ屬スル諸工藝品

第三條 出品ハ本會審査員ニ於テ檢査シ其陳列ヲ謝絶スルコトアルヘシ

第四條 優等品ハ美術工藝ヲ資テ世ニ益セン爲メ出品主ノ承諾ヲ經タル上本會ニ於テ寫
眞又ハ模寫出版スルコトアルヘシ其寫眞又ハ出版シタルモノハ一葉ヲ本會ニ備置一葉
ヲ出品主ニ寄贈シ其餘ハ寫眞師又ハ出版人ニ販賣ヲ許スコトアルヘシ

第五條 出品ハ三月十五日ヨリ二十三日マテ現品ニ目錄ヲ添ヘ本會事務所ニ送送スヘシ
當日マテニ遞送シ雖キモノハ豫テ其期限ヲ通知スヘシ

第六條 傳記傳説等アルモノハ成ルヘク其要領ヲ記シ出品ニ添フヘシ

第七條 出品ハ目錄ニ照シテ預リ證書ヲ交付スヘシ

第八條 出品ハ其種類ニヨリ時々交換スルコトアルヘシ俱出品主ニ於テ陳列ノ期日ヲ限
ラント欲スルモノハ豫テ其旨ヲ通知スヘシ

第九條 出品ハ監護人ヲ置キ嚴ニ之ヲ守リ且監視廳ニ請願シテ特別ノ保護ヲ受クヘント
雖トモ避クヘカラサル災害ヨリ生スル損傷ハ本會其責ニ任セス

第十條 出品ハ展覽終ルノ後逐次出品主ニ返付スヘシ東京市内ハ本會ノ通知ニヨリ受取
人ヲ出シ預リ證書引替ニ受取ルヘク遠隔ノ地ニ住居スルモノハ貨錢先拂ヲ以テ本會ヨ
リ遞送スヘシ

○三重縣報告第六號 二十三年三月二十八日

明治二十三年 自二月一日 一ヶ月間縣下各郡傳染病患者表
至三月三十一日

○三重縣報告第七號 二十三年三月二十八日

明治二十三年 自二月一日 一ヶ月間各縣下各郡傳染病患者表
至二月二十八日

○三重縣報告第八號 二十三年四月四日

多氣郡佐奈村藤原安右衛門所有ノ畜牛炭疽熱ニ罹リ斃死セリ

○三重縣報告第九號 二十三年四月八日

我國ト清國トハ一葦帶水ヲ隔ツルノミニシテ通商貿易上密接ノ關係尠カラズ然ルニ近時
通商倍々盛ナル時期ニ遭遇シ從テ往來頻繁ナルニ於テハ宜シク彼地ノ事情ヲ明カニ延ヒ
テ亞細亞諸國ノ實況ヲ探クルハ又必要ノ事ト云フヘシ今左ニ日清貿易商會長ナル荒尾精
談話ノ筆記ヲ揚々當業者ノ參考ニ供セントス (談話筆記略)

○三重縣報告第十號 二十三年四月二十九日

明治二十三年 自三月一日 一ヶ月間縣下各郡傳染病患者表
至三月三十一日

○三重縣報告第十一號 二十三年五月二十三日

明治二十三年中山林規約實施調 (表略)

○三重縣報告第十二號 二十三年六月六日

明治二十三年 自四月一日 一ヶ月間縣下各郡傳染病患者表

○三重縣報告第十三號 二十三年六月六日

水産ノ隆盛ヲ期セントスルニハ漁業者ハ宜ク水族ノ保護蕃殖ヲ謀リ製造者ハ務メテ製品ノ改良ニ注意セサルヘカラス故ニ本年水産巡回教師トシテ縣地ヲ巡回セン山本農商技手水産談話筆記ヲ別冊ニ掲クテ以テ當業者ノ參考ニ供セントス (別冊略)

○三重縣報告第十四號 二十三年六月二十七日

明治二十三年 自五月一日 一ヶ月間縣下各郡傳染病患者表

○三重縣報告第十五號 二十三年七月

長崎縣コレラ病ハ其病勢甚タ盛ニシテ本月二十日以來日々二十人乃至五十名ノ新患者ヲ發生シ猶追々他ノ府縣ヘモ傳播セントスルノ景況アリ殊ニ大阪和歌山愛媛等隣府縣ニ於テモ彼是特發患者ノ發生アリ本縣ハ幸ヒ未タ一人ノ發生モ無之ニ付此際各自互ニ相警戒

シテ衛生清潔ヲ行ヒ該病ヲ未發ニ豫防スルハ實ニ今日ノ急務ナリトス然ルニ三重私立衛生會ハコレラ病豫防ノ注意ナルモノヲ編シテ普衆人ニ知ラシメ度旨ヲ以テ數千部ヲ印刷シテ各所ニ配付ノ儀ヲ願出タリ其記載スル事柄タル何レモコレラ病豫防上各自ノ服膺スヘキ最モ必要ノ事ト認メ候ニ付左ニ之ヲ掲載ス (豫防ノ注意畧)

○三重縣報告第十六號

明治二十三年 自六月一日 一ヶ月間縣下各郡傳染病患者表 (畧)

○三重縣報告第十七號 二十三年七月二十九日

本縣 尋常 簡易 小學教員講習所講習員十名募集候條志願ノ者ハ本年八月三十一日迄ニ願書履歷書ヲ差出シ同九月十日午前第七時筆紙墨等試驗用ノ器具携帶同所ヘ出頭スヘシ

○三重縣報告第十八號 二十三年八月二十九日

明治二十三年 自七月一日 縣下各郡傳染病患者表 (畧)

○三重縣報告第十九號 二十三年九月二日

商務局商品見本及試賣商品取扱順序ノ儀ニ付客年十一月第二十號ヲ以テ及報告候處右ハ
本年度以降都合ニヨリ相廢候旨商工局長ヨリ通知アリ

○三重縣報告第二十號 二十三年九月二日

和歌山縣名草郡宮前村大字杭之瀬ニ於テ農牛一頭本月二十二日炭疽病ニ罹リ斃死候旨同
縣ヨリ通知越セリ

○三重縣報告第二十一號 二十三年九月二十六日

滋賀縣神崎郡八日市町大字八日市ニ於テ牡馬一頭鼻疽及皮疽病併發候旨該縣ヨリ通知越
セリ

○三重縣報告第二十二號 二十三年九月十九日

明治二十三年 自八月一日 一ヶ月間縣下各郡傳染病患者表 (畧)

○三重縣報告第二十三號 二十三年九月二十四日

曾テ報告及置キタル滋賀縣下皮疽及鼻疽病馬ハ今般全治セン旨同縣ヨリ通知越セリ

○三重縣報告第二十四號 二十三年十月二十四日

明治二十三年 自九月一日 一ヶ月間縣下各郡傳染病患者表 (畧)

○三重縣報告第二十五號 二十三年十一月二十五日

明治二十三年 自十月一日 一ヶ月間縣下各郡傳染病患者表 (畧)

○三重縣報告第二十六號 二十三年十二月二十三日

明治二十三年 自十一月一日 一ヶ月間縣下各郡傳染病患者表 (畧)

明治二十四年九月十日印刷
明治二十四年九月十一日出版

定價金貳圓四拾錢

著者兼
發行

片山克武

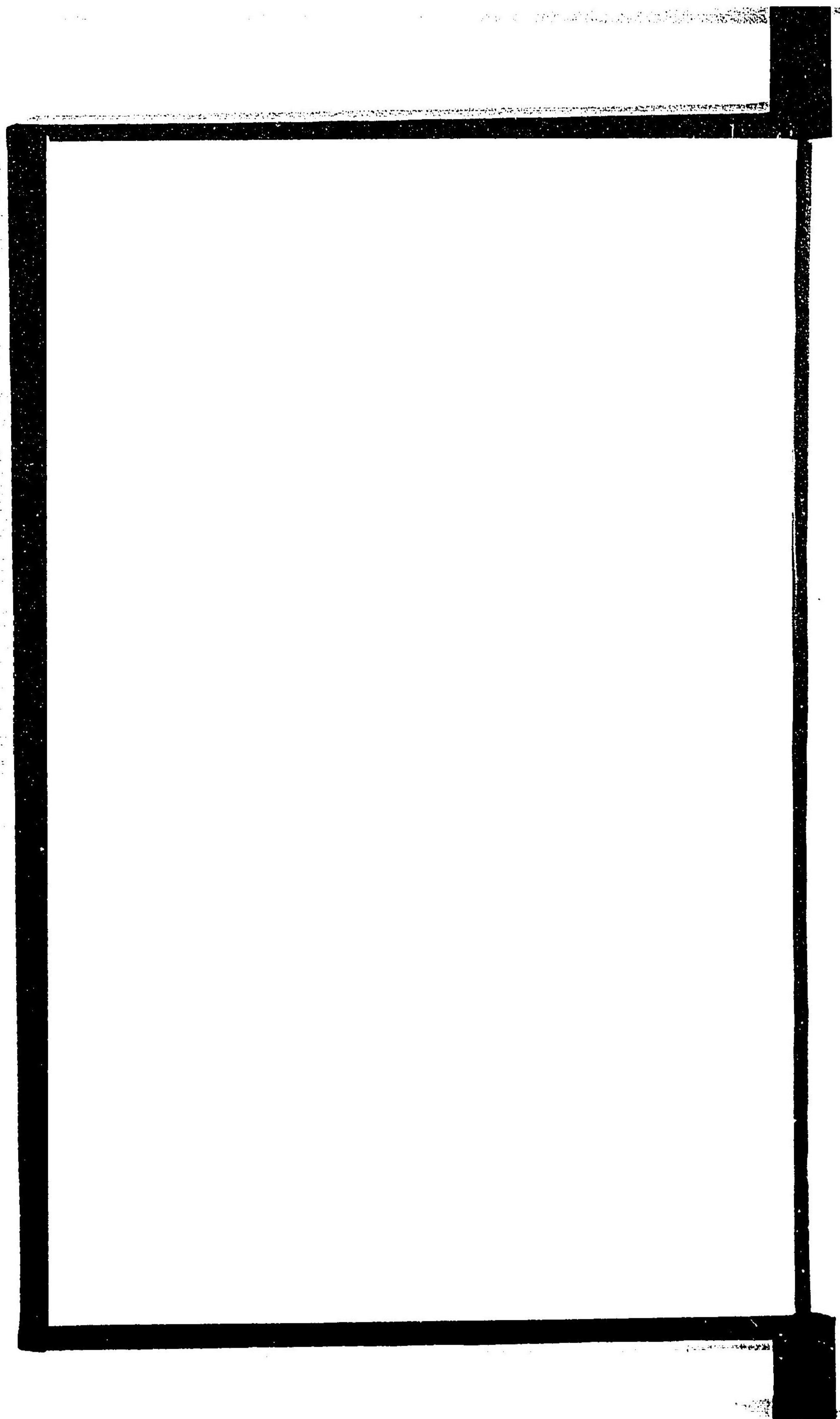
岐阜縣岐阜市大字今泉
泉町四百三十四番戶

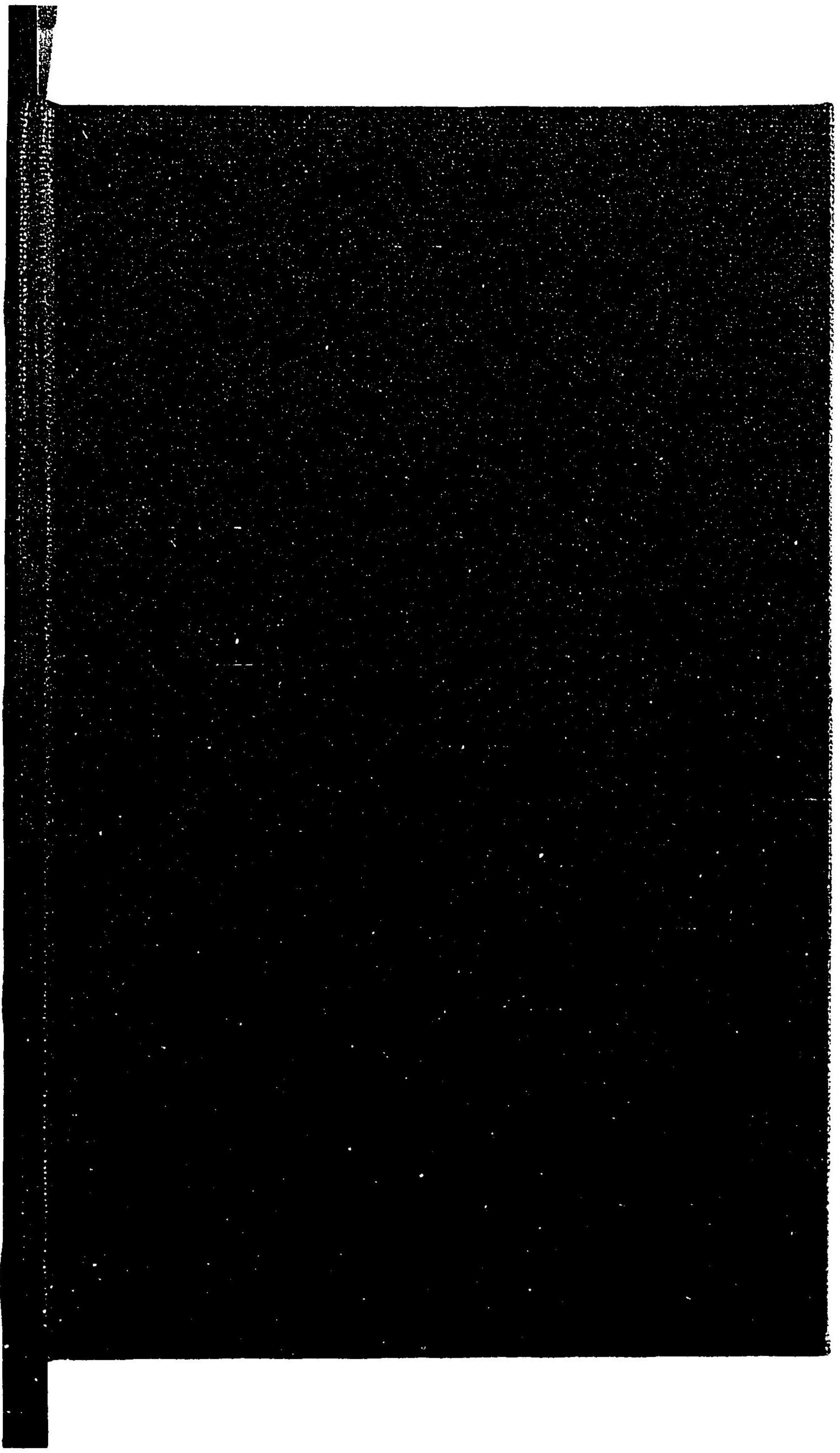
印刷者 山本彦右衛門

岐阜縣岐阜市大字
本町四番戶寄留

44A-27







禁
電
子
式
複
写

031395-008-1

CZ-1113-65-02

三重県令達全書

片山 克武/編
梶原 猪之松

M20-34

BBD-0732



